



卷之二

沈田
跋書

解剖學之總論

(第十一章) 成形素、就緒素

A. 細胞

(一) 細胞構造

(一) 細胞壁構造

(二) 極構造

(三) 細胞膜構造

(四) 細胞形狀及其上

(五) 細胞生活現象

(一) 細胞新陳代謝

(二) 細胞運動

(三) 細胞生長

(四) 細胞生命

(五) 細胞繁殖

(4) 細胞互關係 腹腔吸流合

B 第二章更

(1) 細胞間質

(2) 血管、成形

(第2回) 四脚動物の論入

副腔組織

血漿

(1) 血管球

(2) 血液

(3) 血液凝固

(4) 海老の肝臓

(5) 血色素

(6) 血液凝固

(7) 血液凝固

(8) 血液凝固

(9) 血液凝固

(10) 血液凝固

(11) 血液凝固

(12) 血液凝固

(13) 血液凝固

(14) 血液凝固

(15) 血液凝固

(16) 血液凝固

(17) 血液凝固

(18) 血液凝固

血管分布

動脈

靜脈

毛細管

褐色覺知

生化知

主 胃 運 動

(1) 上壁迴圈

(2) 被膜上生

(3) 範圍上生

(4) 在板上生

(5) 穗毛上生

(6) 很念上生 (平行上生)

(7) 色素上生

(2) 腺上生

(1) 肝臟腺

(2) 腸周皮腺

(A) 唾腺

(1) 耳下腺

(2) 舌下腺

(3) 腎下腺

(B) 胃腺

(1) 胃表腺

(2) 胃固有腺

(2) 筋膜間

滑耳帶

橫紋帶

(3) 甲狀鈣線

中立细胞

組織學

第7位 新井春次郎先生講義

組織學 (解剖學的総論) (一般解剖學)

生活体成形原素 Hormement (Selle) 成形原素。
相集シテ生成スル組織トテ論ジル曲るナリ 部々生活体ハ
具・形状・各異シテ其ノ具始メ・底形若シコトニセシモノ
ナリ又其・成形素ハ・分体シテ教ヲ傳スモナリ且・分体ニナリ
シモノ互に相集シテ成・生產物・依テ組織 Gewebe
ラナリ此ノ組織相合ひテ器官 Organ トテ曰ク

相集シテ始メテ身体ヲ成

今動物体ヲ切開シテ之シテ種凡て初メ・肉眼ヲ以テ檢シ得ルモ
微細ニ至シテ肉眼ニテ視能無故ニ體微鏡・力ヲ資シ
テ見ル所・微細ノ組織部より迄至ルトヲ得ルナリ此小
部ヲヨリ細胞ト特

換言尼・身全体・細胞ヨリ成・其ガ集ヘシ生産物ト
合シ組織ヲ生成スナリ組織・比日同ノ機能ヲ有スルモノ
アズ隨ソ組織ヨリ成形スル細胞を同ニカシム・比日種ニ組織
ナリ故・種々組織が集テ器官・形成・身体中・諸器
官・比目丁目・機能同ニカラス而シテ器官 Organ:
告誦・於ア端ニ細胞 Zelle 細胞 Gewebe 総論

二五二論文ナリ

解剖論ニ就テ研究スルニ如何ル方法ヲ取ルヤ顯微鏡
一力シ督アリサルアリ又兼ナリ。就テ論ジルアリ其化組
織化學的成ルシはアリサルカジテニテ動物化學
Quedamneトホア生ツ成形シ付ス顯微鏡上、検査
或研究上ニ就キ合歛引、就木化學的、検査即
動物化學ナリ而ニメ學の物ニテ解剖學 Histologie
トニテ顯微鏡、力シ質リテ研究スルカレニ显微鏡上
解剖學 Mikroskopische Anatomiia トナラ又種
ニ、動物ナ比較ニテ組織自共ナ露達スル則、カハル
法則ナ比較解剖學之總論 Allgemeine Verglei
chende Chirurgie トニテ

解剖學之總論、沿革

考、後論、幼弱、醫ニテ其世子、自里祖ト其做ル、
佛人 Brichat ブリカ (一千七百七十年ヨリ一千八百〇二年
向) トオナル研究ニセニナリ也、研究、法、比較的
充ニ化學的 (生理、病理、目的) = 微シテ總ニ一千八百〇
二年、一著述ナセリ空ニ解剖學之總論有改
編補、各論、正別ナ立テラタリ此時明ニ顯微
鏡無ナ故顯微鏡ヲ用ビジテ研究セラタリ

顯微鏡

顯微鏡 Brichat 次前、於 (一千五百九十年頃
和蘭、祖籍南 Janen 氏、聲明セモアリ保
極之短簡ニテアフニ日向一千六百年代ニ至テ種
聲明アリセテ此短簡ニテ充ガ、記述ナラバ、僅カ、醫

間前ニ供セハニニ保ヒ顯微鏡、亮明アリテ、顯微鏡的、解剖學のアリジ、故ナ

沒有性體 *Achromatische Sines*

「ナセ百六十日モ明ケテ無種類ヲアリ顯微鏡ヲ亮
明セシ一千八百〇七年ナリ里白一干、四百十一年 Phrenes
hotoe氏、顯微鏡、亮明アリテ、設色性物体レニテラ
ソラセラレタ、無種、亮明以東迄此之ニ進歩シ簡
捷ケ明細ナリ顯微鏡ノ亮明アリ故ナニキ進歩、治瘉
ラニリ、但カナリ、Bichat氏、前身體、組織ヲ
研究研究セラレシノアリ L' marcello maggiore氏、
一干六百三十八年ヨリ一千六百九十年間ニアリ、組織
ノ研究セシ、短簡ナル顯微鏡ヲラセラレシ又和蘭人

Anton De Jaenichenhoek氏、一干六百四十五年ノ一干七百
四十二年間ニテアリ、Bichat氏、前身體、諸氏、研究
ニ專シナシ、ホトテ羅勃氏、且布一千八百三十七年於
ニ獨ク Schlesden 氏、植物ニ就テ細胞ヲ亮見ヘタ、
故ニ植物体、細胞ヲ成ルヲハシロシテ、且布二年
ニシテ Gherde Schwam 氏、動物体ニ就テ細胞ヲ
亮見ヘタ、即ニ動物体モ植物体、如ク細胞ヲ成ル
ニシテ公言シテ此ニ關ニシムカ、亮見ナリ、氏ハ口アリ動物、
生詁、細胞各個、合「ヨリ成ルヤシシテ而ヒテ細
胞、集シル、有様ヲ追説明セシムニ其ノニヨリ尚
一層、進歩哉、然カナリ、且布ニ於テ其性ヲラセラ
ドリ」
Anton De Jaenichenhoek

等、諸々の病気比較的研究
発生的、研究的近づき、近年の病理的
組織、病理的変化、論じ病理組織学と名づ
かれて居ます。

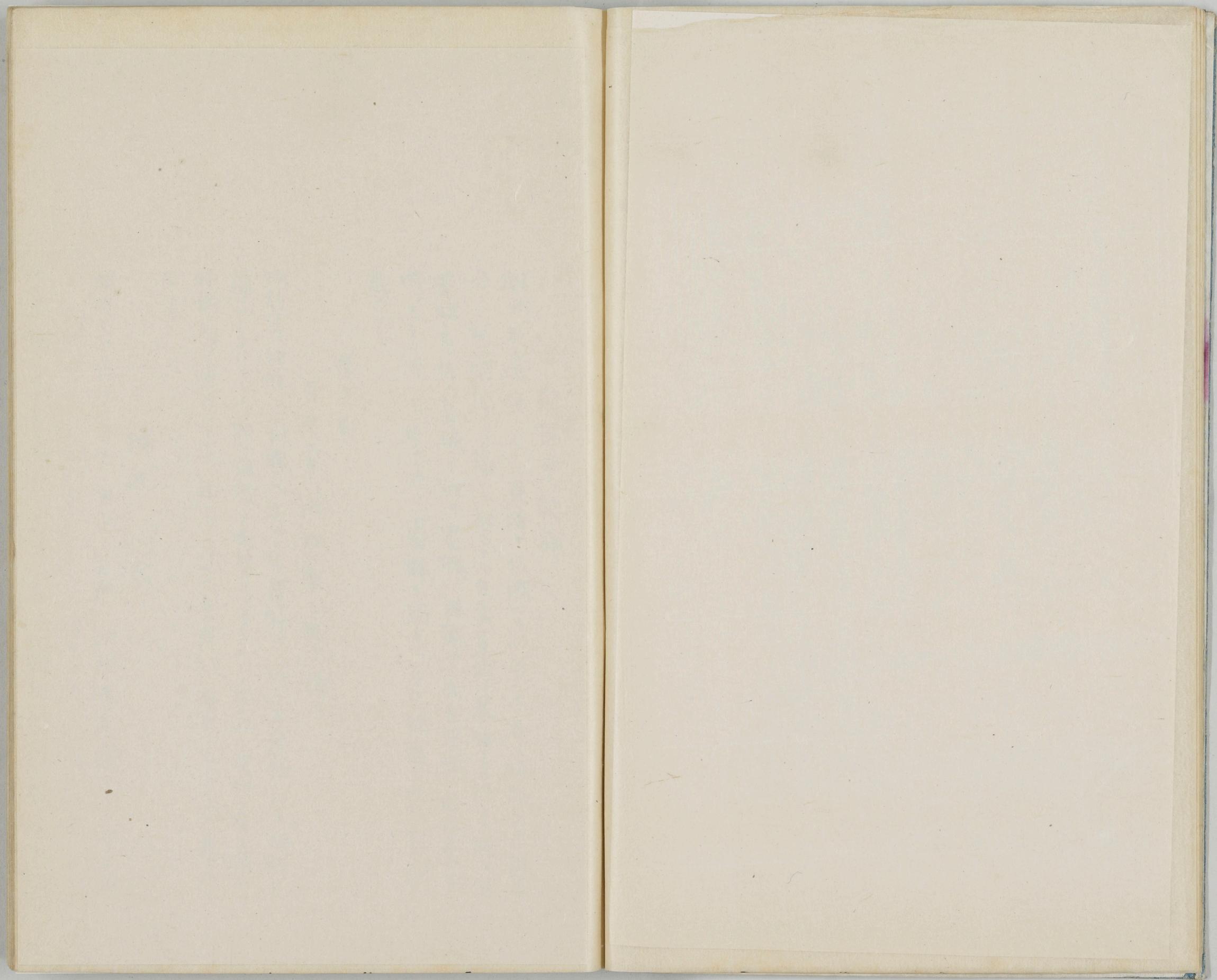
以下は「身、病」細胞病、「Cellular
Pathology」ト云ふ「細胞」繁殖の有
無、名づけられた「細胞」細胞繁殖にて
Cells Cellular Cellules 云々

聖經

申光

申光

申光



池田
恆書

解剖學總論

解剖學は總論として、身体を形成する成形素及び成形素の相専合して成る組織と組織とに由るて元来身体の器臓系統を成り、其器臓系統は又有機的成り置臠の組織より成り組織は成形素を成るモナリ保有し、此等は於て、器臓を論じざる只組織と成形素ある部

論

第壹篇

第壹章 成形素と就テ論

成形素は細胞及び細胞より生ずる生産物と成る生産物は細胞、遺傳子カルクンモナリ即ち組織と成形素とが、体内で変化を生じ或は外部に向う變化シナヤニ由ルシナリ生産物、有形モノアリ或は無形モノアリ

モアリ

細胞

Zelle

細胞一レ体、自己、生活ラヌ而シテ細胞構造、體ラ次、如ク別ス
又細胞体 Zellkern (Zellkörper) 其体半一個、硬固な物質ラ且
スニラ核 Cytoselus (Zellkern) ハ多且他細胞、周囲ニ膜ラ且ニモ

アリ之ノ御殿屋
或

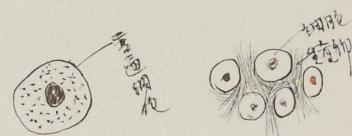
卷之三

Zellmembran 2-11

細胞二十六必重十九

毛公
卷一

原形質 protoplasm



細胞の之の膜を殊に幼稚、細胞の胞膜有るべく却て老
齢者妨害子素の故に幼稚、モノ概子有せば併し老膜、
老膜生れが故に老細胞、而エモヤリ又細胞は独立、缺
ケタルアリ之を無核細胞 Cytoplaste ト名之、甚シ端ナリ

シエライデニ長細胞系見せし時、説ニ曰フ細胞ニ周圍ニ壁有
モ板ニ腰アリテ内ハ空洞ニテ全面遮隔、物質ヲ充々シ恰モ蜂
巣ニ如シ例ニuelle、色ノ想ツシナリ然レ氏細胞ニ全長、説ノ如
一腔アリテ壁ヲナシ内ニ水様ノモラ次ラ充々タリタルニアラサルナリ且ニ中
ニ歟物質ヲ收ラスニシテ單形質トシ空ニ生詭体、原壁アリ
而ニラ其ニ中ニ核ナ有ニ其他経過牛ニ腰ヲ想スモ一奇（若キ細胞ニ
是モ端トシ）ルニ正別ニテ魚類等、ヒト臍帯、胞胚 protostomat
(Unicell) 及 Cytoblasten (Zellenkern) トシニシテ、對ニシテ體

細胞、自己、生活ヲ主ニ而シテ生活、諸多事（生理的作用）ヲ具備ス故、ブルック氏 Brücke “細胞”名ハシテ原生植物 Elementarorganismen トニヒヌハツケル也 Haeckel “微動ナリ” 生活体 Bronnen Plastidum トニヒヌバシニシテ Blätter ルヒナリ Hertmann ト亦微生植物 Bryoplasten ト名シタリ 姬斯細胞一ツ生括体カルが故ニ單純、動物ニヤツテ、僅カ一ツ細胞ヲ成テ身體ヲ形成スルモノナリ之シテ單細胞動物（單生動物）トニシテ之ニ及シテ高等動物ニ多ク、細胞ヨリ更に擴ニシテ複細胞動物トシテ前述ノ如ク細胞、至ナル部ヨリ、偉カヒ極ナリ体、單形質、一塊ナリ無耳、内ニ單純、單形質（单一事）ヨリ硬固ナルモノナリ（併）其ノ造構、異ナリ即ニシテ如斯細胞、内部ニ於テ單形質モノヒ極、固有物質モノ異ニキ物質ヲ混セシモノアリ且、混セシ物質、一旦、形狀ヲ失スアリ不口カラガルアリ為、圓形ナナリ、流動、モノナリ

營養物質 Nutrimental substance 生產物 Product

1 混合細胞 *Mischzelle* 依原形質 *Mischzellkern*
 + 名シケタ Haller *如斯の細胞ヲ複雑形質細胞*
Diplasmatische Zellen 上ノル *幾ニ多形質細胞*
 もハラ單形質細胞 *Monosmatische Zellen* 上ノル
 複雑形質細胞 *Mischzellkern* 且
 複雑形質細胞 *Mischzelle* *幾ニ多形質* *幾ニ多形質*
 球形モナアリ。且ハ粗ニ、而保、顆粒狀ラヌアリ或“島”結構ト
 成テ現ニ或“結晶體”ナリアリ。而ニテ。流动形ラヌアリ現ニルモノ
 周圍に壁曰質シテ内部に空洞ヲ有。空洞内ニ液存モノ
 ヨリシニテ空洞 *Vacuole* トシ。多ク植物細胞ニ現
 ル。偏ニ稀。動物細胞。且ハコトアリ。其他細胞、死ヌルヤ如斯
 キ空洞ヲ生ニシテ取扱上甚葉及應一焉スニ。空洞ヲ生ズル
 アリ之占ムニ直、空洞トナリ得ズ。

大細胞中二種、器管 *Organ des Zelleib*

粗 *Coarse*

1 副体或副核 *Parasoma et Nebenkern* *粗*
 ハアリエ *V. La Valette* お名シケル所ナリ

2 中心体 *Centrosome* *粗* *Coarse* *Baderi*
 ハ名フタルホーフ *F. V. Baderi* は極小体ナル名シ命

ナリ

之生盛番殖ミナル關係ヲ有スルモノナリ而ニテ中心小体
 索ニ極ヤ体、細胞体ヨリ是流ラ殊ク屈曲不規直
 置、隆ニタル關係ナリ

3 中心体 *Centrosome* *粗* *Coarse* *Baderi*

之名フタルホーフ *F. V. Baderi* は極小体ナル名シ命
 ナリ

(二)



4 極中二種、物質現 *Chlorophyllen*
 仁 *Macrocysts* 極中體 *Pollenkern* *粗* *極中* *粗* *極* *粗*
 物質ナリハ、卵細胞ニツテ、胚乳(胚芽) *Embryole* 上ノル概
 乎極、中央ニ位シ一箇、モナアリ或“數箇”モナリ而ニラ仁、極構成充
 物質トニ思フナリ者メ、活子葉及應ニ異ナリ細胞著殖、隆ニ
 仁消失ニセキナリ併ニ新細胞トナレド又仁ヲ生ズルモナリ

内ニモ又一ヤ体ヲ呈ヘカレナ ヒキ Chlorobalanus トシテキタ其性質
ヲ充分証ス能シニシテ硬固物質ナカニ於て洞ナラレ

細胞構造

Struktur der Zelle

細胞体の核の周囲に包む軟物質より成る名ケテ 生物質ト云フ
是物質は單一化學的性質ヲ有スルモノアラズ其の反應並密加
里性ニテ又溶解せザルモ膨張スニテ煮沸スル時凝固ス而シテ
其性を示す 炭素 Kohlenstoff 又 水素 Wasserstoff 106.

Schweinfurt

四二

十一月二十日 Ointment
蛋白質之固體部分 protein figure 細胞體
屬於植物即 Chloromine Globuline Fibrin
Plastin Nuclein 蛋白質中細胞体固形物
殊 Plastin 為其他水溶性蛋白質之合稱 plastin

八稀酸類、胃液(エドシン)唾液(トリーピン)等に遇フモ溶解セガレル其他
、蛋白白質ニアツトニ溶解スル、*Plantin*、酸性アニ林色素ニ依
テ褐色セラル例ヘリ「オジ」*Eosin* 也、酸性ブクシニ「Down fuchsin
ニ依テ体ニ褐色セラルが如シ實ニ考者、胞体ヲ褐色スル特意、色素

今細胞傳導器才顯微鏡ヲ以テ検スニ恰モ 同質、如ク見ヘ尚
シク強力、者ヲ以テ検スレバ 頭部状、シロヨシ極ムラ強力ノ、頭微鏡所謂
油浸系統ヲ以テ検スレバ 傳導ハ、従維 *Kontrastchen* 見ル而テ調狀ヨリ
考綱状タナリ發見シ公ニセシム *Großmann* - *Heilmann*

Klein Leydig Schmidt 諸近耳、圓柱形、白形直
或放線狀角 Cystoides plasma 一、且、網眼中於同直角
造構之複物質、假性「透明」Paraplasma

其他胞体内に小颗粒状、物質或は休眠セル之ラエシテの体
Myxococcus marinus トキシカ
又鏡下体 Gymnomyces marinus トキシカ

	<i>Cytomitosplasma</i> 細胞微鏡	<i>Cytosplasma</i> 細胞質
<i>Hypophor</i>	<i>Protoplasm</i> 形狀	<i>paraplasma</i> 依性形質
<i>Plasmung</i>	<i>Prokernasse</i> 細狀質 <i>mitian</i> 線狀	<i>In tel plasmasse</i> 線狀質 <i>prokernitan</i> 依性線狀
<i>Leydig</i>	<i>substantia grisea</i> 不透明 海綿狀	<i>substantia lucida</i> 透明 結締組織
	<i>spongiosoplasm</i> 海綿狀	<i>Hyaloplasm</i> 透明

今半導力、顯微鏡ヲ用ひ見ル時、顆粒状アリ。是即ナ網状鐵道、交叉シラ顆粒レ。如キ颗粒アリセナリ。併シ胞體アリ。如斯キ構造ヲナモカ。又検査、摩擦感極、為ノ理由カ。アリ也。而謂之網状見ユル。設シ與近シ而シテ新鮮モ、即ナ生活ヌル細胞ニ見スルトアリ。例ハ軟骨細胞、Knorpelzellen。肝臟細胞 Leberzellen。結缔組織細胞 Endothelzelle usw. 神經細胞 Ganglionzellen 等。諸テ見ル事、線状、胞体内、同質モ、又メダラ線ラ屈折ルト殊シ。

アントン、顯微鏡

其他アルトマン氏 Altman: 細胞、顆粒状モナ形或セラル、ナリト言ロ。リニシテ顯粒學說 Granulathorie. トシ同氏、說、因ル氏、細胞体、同質、見タル前、同質アリビニ必ス。一、顆粒ナリ者、顆粒ヲ観ズラ知ラガルナリト又名調ト見做セシ部分、顆粒を境界セル所向直ラシテ顯粒間質 Intergranularsubstanz トシフ(膠原物)

同氏ニ始、分メ重複角母敵加里祖、又メ過オニシーリ酸祖、合祖ラムラ組織ラ因メ而シテ其ヒラ博ク切り地ラ敵性フクジン、然ヒクリニ敵無空隙祖、又ヒラ博ク切り地ラ深色ヤヒル。即、顆粒、深色ス而シテ顆粒ハ大、粗密、別アリ或、連續シラ線狀ラナシテ見ユル部分モ、アルト其次尚キテ該換コセラタ、且、時、も後モリグデン酸安ゼニ異トシ。多メ核魯溼敵、合祖ニラ組織ラ因メ后薄片トナレヘマトキシリンカルヒケマナコヒラ深色界。

而シテ同白細胞内、顆粒、顆粒、植物ニヨル、葉綠素 Chlorophylト同シキ(作用モ)ナリト言ヒ其后又顆粒(バクテリヤ)ト同シキモナリト故ニ、顆粒ニ生詔律 Bioklast、名ナ附カ、而シテ顆粒間質モ精細、検ル所シテ顆粒アリ。而シテ其、顆粒、同化作用

Chromatophores = 依テ盤白質、脂肪、及び含水炭素ヲ形成シテ
体内蛋白ヘ之ヲ以テ体ヲ増大スルト得而シテ、颗粒ニ於て植物
ヲ吸取スル際ニ之ヲ傳達スル作用ナリ。又核、必死ノ事ニ同モ
ハ多必颗粒ナリ。形成ス其他或ニ場合ニ於テ、同化作用ニ依テ形成
シタる物質(脂肪、如キ)ヲ蛋白ヘタルモノアリ。又核、アリテハ其、颗粒
同化作用ヲ營ムモノナリ且、颗粒間直接、ク体ノ際ニ當テハ深性線
條 *Chromatophores placentarum* (アリテハ、佛國解剖學會於テ説ヒシ)

ト説ベタリ

之ニ依テ *Herrlich*、*Hilf*、*Hermann* 等、諸氏、質疑セシガ
モダ諸氏、信用ナリ。又 *Rosenblatt* 之ニ更、説ヲ駁ニア
ルト。又、説ヲ以テ表す細胞ニアル角質颗粒、*keratohyalin* 及ビ
色素颗粒 *chromatophores* ノ研究を以テ然ニ矣、者ヤリトマニ氏
、説、如キ及虚ラ見ズ保ニテガラアルトマニ氏、後ニ依シニ角質颗粒乃ビ
色素颗粒モ亦颗粒ナラカレ可カラズ然レニ耳、反應無キリ。且見シニ之
是モ、前項颗粒色素颗粒ハ細胞一種、生植物ナラニ且之ニ由ニ見
レバアルトマニ氏、唱道ニ前、颗粒モ、或ハ細胞一種、生植物ナルヤモ測
認ケルトアリ

ル年カラズト言エリ(某事、孰テ、辰日大研室にてアリモコト)

故ニ當今、敵ニラ、多ク信用アリ説ニ隨テ説クベシ

細胞体ノソノ線條アリテ、線條ニ長キアリ短キアリ多サアリ。又
種々ノ方向ヲ有タル網狀、モアリ。或ニ経過、正ニモアリ而シテ各線條
間ニ線條ト異リタル物質ヲヨミエ故ニ顯微鏡下ニ觀ル時、線條異
植物質ヨモ署シテ之線條層拆ス而シテ其、線條ニ生詔細胞ニ於テモ
認ケルトアリ

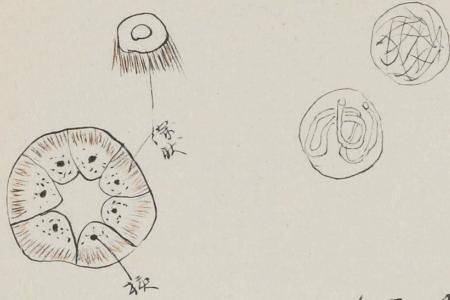
今各箇、細胞ニ付テ一々精視スル、体内種々ノ状態ヲセル、線條多至

不ルモノアリ

(一) 細胞体中ニ線條ヲ見ル之、線條、草ニハ線條ニ依テ形成セルモ
ト或ニ葉狀、線條モ、依テ形成セルモアリ而シテ之等ノ現存
スルハ物質交換、為ニ何カ必要ナラシ(液、流通、如キカ新陳代謝、
血ツツ、樹脂ヲ有ス)

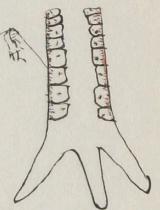
a 線條ノ中ニ放線狀毛現ル

之ノ者、根ルハ「カマシ」Hechties、卵ノ營養卵基基他
(足魚イクシナ) *Gadus latus*、卵子ヒラキ蛙、卵ノ



爬虫 Reptilien 卵母細胞

線條並行 球形



之多大卵細胞 Dicella Zellen 球形

Hayen 皮膚 Hautdrüsen 其他 蝸牛 皮膚 其他 青蛙



表皮細胞 如其他高等動物 (如鳥類) 腎臟

胰臟尿管 上皮細胞 球形 即上皮細胞 標記

部 proximal Ende 球形 其他 壓縮 扁平

細胞單層及細胞膜 色素細胞 亂流佈散

細胞体中甚密 細胞線條 所以有作用

之等 燕子細胞 Hirten Zellen 球形

一種神經細胞 Nervenzellen 精蟲 Samenzellen 甚密

細胞体中收縮性 線條 球形 作用收縮

之等 肌肉細胞 楊紋筋膜 球形

細胞体中常纖維 球形

之等 瘦肉 神經細胞 球形 (神經細胞 神經系統 腹部 胸腔 引導 + 等 所謂 球形)

又細胞体小顆粒狀 或小塊 球形

(1) 脂肪小滴 Fetttröpfchen 或 脂肪球小胞

之等 多大細胞 球形 例 軟骨細胞 肝臟及腎臟 上皮細胞 其他皮脂腺 Tayloren 細胞及乳腺 Milchdrüsen 細胞單層 球形 又肺トシハ小鴨 上皮細胞 脂肪負擔取 セリウム 於 テルヒロ 等等

色素顆粒

另等 結缔織細胞 或 表皮細胞 球形

(2) グリコーゲン顆粒 Glycogen Körner

之等 多大 細胞 球形 其他 上皮細胞 球形

顆粒及小胞狀球

former

之等 小顆粒 小胞狀球形者 就化學的質

判然 タラバニ 卵細胞 (卵蟲) 甚多大 例 鳥類

爬蟲 Reptilien 水陸兩生動物 Amphibia 之等 雜物 Glider 例 鮫口玉元 雜物

小班 Dotterschicht 烏口玉元 卵蟲 卵蟲

Chen phot.

エラベラン顆粒 Erythrocite ferment (エラベラン種)

ニコナム皮細胞 體 (皮膚) 腹隔膜 (アラバム種)

(5) 中間顆粒 Intercellular ferment

ニル筋纖維体 (横紋筋、多突繊維) 间 (中間) 其他

腎臟顆粒 ferment 體 (腎臟) 體 (腎臟)

之: 脾 Pancreas 細胞或胃液腺 Magensaft drüschen

、細胞中 體 (中間)

其他老年細胞 アラテ 結晶体或結晶球體 體 (中間)

1 結晶体之体 體 (中間) 例: 痘的アラテ 體 (中間) 例: 肝

胰臟細胞中 體 (中間) 胆汁鉢形 (アラバム種)

エリイデン結晶 Haematochitri

動物 パラシーム細胞アラバム種例: 血液 Battie 血液

Vorläuferzellen 細胞体中 體 (中間)

Blutzellen 中 體 (中間)

4 結晶球體植物多糖細胞 體 (中間) 動物 結晶球體動物 結晶球

細胞中 體 (中間) 物質 血液纖維細胞 Kallikrate 例: 成人

其他量 放射性蛋白質 (尾素) 體 (中間) 小放電細胞 Gran-

Chitosogen: 原酸鹽類 Harnsäuresalzen エラベラン如斯の

7 真核細胞 Milkzellen トウ

腔胞 Vacuolen

細胞体中 體 (中間) 腔 (空洞) 體 (中間) 液胞モノラ流子外壁

硬固角質ラヌ其液胞白角質液或塗類溶液 (アラバム種)

如斯一腔胞動物性細胞 體 (中間) 植物性細胞 之多糖體

之 (保) 四半細胞動物 體 (中間) 例: アメーリ Chitomate

之モノラナ耳葉腔胞時之取端之故二胚端性細胞 Canta-

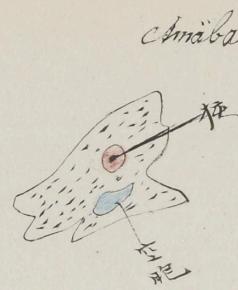
Chitocytoblaste トウアメーリ因モラニ於ラニホ、空洞 體 (中間) 不同之

之細胞之作用ヲ有エラナ

副極或副体 Melanophore or Porosoma

副核精液細胞 Samenzellen 或 腺细胞 Drüszen Zell

之葉祖其体復蓋發生事々較大充分判明セズ



草細胞動物、高等植物、副核、細胞核、即ニ同時
体の細胞核、又兩極あり即ち核、副核、(或)生殖核、
アリ

中性体 Centrosome

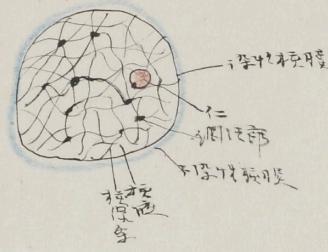
中性体、細胞分裂体、核アリ

核二千八百三十三年、於テ Robert Brown 植物之観察セレ

核構造 Structure des Zellkerns

核内容即球形質 Nucleoplasm

核之細胞体、如ニ一種、線條ヨリ成ル其、線條ノ間ニ同直液保
主ノ核ル其、線条ヲ名シテ核線状而形質 Karyoplasm
メラニテ線條ノ間、則ル同質液様モノナラ核透明而形質 Karyo-
plasmata リテ核線狀而形質、核液狀 Karyoplasm
トテ網狀状ニテ核膜 Kerogenest トテ又其、線條著シ胞膜
部アリニ、部シテ網狀部 Kerogenest 又核中ニ核線條ニ
故ニ無色質 Chlamomata トカニ不透性物質ヨリ成ル



關係セカニ一圓体ラヨミスシテ仁即、核内體 Nucleolus (Kernkern
merchen) 名シ其外核膜、圓周界者、核腔、體狀ヲナスシテ深
核膜 Chlamatische Kerumembran 云々、名ナシ、若メ、深色
ニテ、外部アリ、一層膜ナラ不透性核膜 Chlamatische Kerum-
embran 云々又核膜、間ニ同質液様モノアリナシテ核液 Kerogenest
核膜、核子深色元特有、色素ニ善ク深色ス故ニ有色質
Chlamatin リテ深色強物質ヨリ成ル而シテ核液、之ニ又シテ深色セ
故ニ無色質 Chlamomata トカニ不透性物質ヨリ成ル

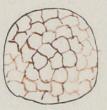
核調 Kerogenest

核調、大小種々、多様ヨリ成ル、核四端ニ集、系條ヨリ成ル而シテ一条、主ノ經橋要
大ニ、半円曲シテ中央ノ調節ナシト又多條、兩端ニ仁ナシ而シテ仁ニ曲
ト、設アリ

Bathianii 説

核、設、由ニ、調四端ニ集、系條ヨリ成ル而シテ一条、主ノ經橋要
大ニ、半円曲シテ中央ノ調節ナシト又多條、兩端ニ仁ナシ而シテ仁ニ曲
ト、設アリ

ブーネー氏 Buntechi 説



以下等動物、乾ア研究セラムナ Cithophagellata
(鞭毛虫類)、就ア検し次、説ラセア曰ク 柱中ノ細カキ輪高並
構造ノ空洞ヲ呈ス事、蜂窩状ノモノ内部ニ亘ニ交通スル
モナリ且ニ空洞中ニ通孔モノヲ有ツニ、固有、柱體ヲ有セ
然ニ腰梯モノヲ現ス

ラヒー氏 Radl 説

氏ハ柱網大ニ種、系條ヨ成、其大キ系條ヲ第壹線條
Premale Faden 上名フクニ、蹄係状ヲナシテ胆ニ其蹄係、頭
極、一方、何ツ其マル耳、頭部ヲ名フケテ蹄係、極部 Pal-
ete ト名、脚部、頭、及、基、側、向之ニ、前極部
Gegenpolseite ト名又具、多シ、蹄係、極部、相集令而
シラ極、間ニ僅カ、穴ニ通ヨリ之ヲ極野 Nalchel ト名
ラ而シラハ、ワキ線條ヲ第ニ保得 Secundare füden
トシヤニ、線條ノオ、保條ノ枝ニシテ其ノシテ互ニ交又ニ、調
ラナレ又調達部シ形成ス

トドラスブルケル氏 Strasburger

氏、曰ク柱、根元、網、「ラビル」氏、アニ、系條ノ成ニシカズ、
一束ノモノ弯曲ヨリ形成セム、ナカ茲ニ多シ、系條ノ成ニカ利附
セシト供シ、氏ハ植物細胞ニ就テ研究セラシタ

アルヒアーヴ Balkiani トビウムニ Philmer

画示、設「曰ク Chromatin ノ網羅、且、其系条ニアラジニア多
キ、微細顆粒ガ粗並列シラキナキリ形成シタルナリト是、微
細、顆粒ヲクロマチン呼 Chromatin Kugelト名フク且、其
素ヲ形成スル当ラ、各球、間ニ不連性物質ヲ以テ統合シタル
ナリ且ハ不溶性多量、化時、上、famm ト云

核網色素ニ深色ニ例、(ヒトラン) Saphranin (アミン) Cammin (カルクン)
Haematoxylin 等ニ深色ニ故ニカク深色セラル、物質ヨリナリシテ之シテ
Chromatin ト Huelin ト云

核 網 Kernel

核液ト、细胞、間ニ充々セラ、且直、溶解同質モナリ四壁ト
物質ノ間ニ、蛋白質セラ、金有ツニ、試モシ加スル、潤滑シ



微細顆粒状、物質想之モノハ

フレンシング氏、設

氏、護、由、之、武、ま、ち、め、凝、固、シ、成、ク、キ、ナ、リ、決、シ、ラ、有、形、

カルノイ 次第

卷之三

此說之失，猶猶井也，謂某物無理也。Plastin
乃堅白而無孔者，其內流動性，內有含氣
矣，故酒之特異，色生之深色也。故 Schumann 認爲
植物化學的 paraffinum 上品。

III *Nucleolis*

仁ノ具ノ形内ミラ色まみニ染色スルモナリ籠下ニ檜スルレハ強ク
之保リ壓抑シニハ「按潤ト如何ガ」閨係ヲトスルニ孰ラハ以前
即ナ耳レ「仁」調傳郎ナリト言ヘリ既ニ之ハ「調傳郎ト」田号ナリタ
モノミシテ多幸ト連復セズ別ニ調傳中、現存ス故ニ其深ノ壓抑
色素ヲ、閨係莫大ヒ田号ナリ

アーネスト Buntschulid

民設ニ仁ノ中モ微細尤調四維が明ニ

サクマニヤ Zacharias

此後に日本で調査船が現れ、網 *Plastin* と呼ばれる
而して網の中の種々の生物を貯め、貯めたもので、日本に運搬
する個々の個々の数個を採取して、それを現る。

カル、～
Carney、J.

江原に神吉細胞結構
微細胞・滑らかな細胞(三)
即ち赤素・深色の深・色素の感覚・固厚・短・ト圓形にて
而して長
圓形・滑らかな細胞(四)
即ち透明・少白・少黒・吸水性
圓形・透明・少白・少黒・吸水性
Purkinje fiber -
Loculus 上のルーツ精細ニ極めて圆形物質アリスルハシテ
之に附く・固厚・粗粒状物質
之ヲ固根スルニ・體質環
ナリ・此ノ固内ニ液植物質ヲ充ツテ・成・疣胞 Vacuole ト
ナリ・此ノ固内ニ液植物質ヲ充ツテ・成・疣胞 Vacuole ト

アリ 植木の根を洗う

腋脣 拉多毛、周囲、網状汗腺部ナリ流してシミシグニ其外部於ノ
腋脣 *Perrmannianum*

高一層ノ層ヲロエヌ且フ、層ニ色素ニ感セザル事、負リテ、
其ノ層ニ付テコトヲスルケル氏名ヒツテイネル氏、其層ニ *Phytomyces*
内寄ニナルトキヘ、故ニ植物ニ就テ検スルニ極シ、体蓄殖ノ際ニ於テ
其枝體 *Phytomyces* 本ニ移行消失シ而シテ多弊、機能ヲ終じ再び
娘核、周圍ニ想ル、枝體成る *Phytomyces* *mycelium* ナリ
又或ル枝ニ於テ其枝體、中於テ枝道ト因具リキ種々之体現

(一) 結晶傳

カルイ民

(四)

(二) *Nucifera cinnerea* 噴腺、極・魚・卵胞(胚胞)、中・祖元
鐵維狀物質
之ニ魚・卵胞 Fische Keimblaschen、液液中祖元
性質不明ナリ不快
之ノ体ノ性質不明ナリ

穀粉顆粒 Amylum — former
N. : *Tradescantia* 植、中、題(スカラシヅルニキナヒタ) 又
Ceratostigma spinosum 、被(トモコサカシ) (アロントゲンの別名) 乃ヒ

Churia
、核半徑元(下部動能)カーネギー氏(著者)

(P. 1-125)

之。Ginman，脂與肝脾腫，細胞核均變大。

卷之二

Chrysanthemum

本草綱目

卷之九

蛋白質及醣酵類

卷之三

極形狀



極胞圓形狀直

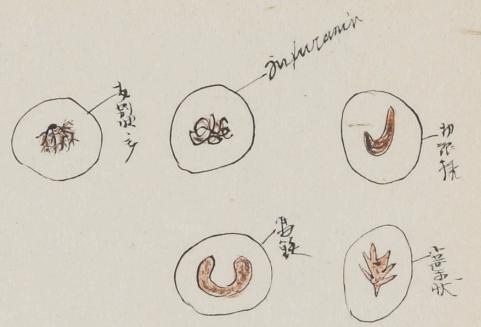
馬肝膩
目青物方清

(一) (二) (三) (四)

Chlorophyll (叶绿素)
植物细胞，绿色光
色素颗粒

黒野原
(カノノホラ)

孫
子



アリ基池下等動物アラサルモ極切毛孫干し或小豆状呈
エラアリ例ハ獨子脾臍細胞核切痕様又水陸生動物
細胞上皮細胞核ハ蓋狀狀呈
尚下等動物ニ於テ鳥類錐形ナニヤツ(長クシ)圓轉(タキリ)
例ハ「インフレミング」(*Influenza*)如キモノ「ウツナクリ」*Vermellen*(ワコナリ)
ノ姓モニ理ニ成ハ極多ク之別スモアリ「インセクト」*Insecten*、線細
胞ニロ王ニアドミナー、*Phormina*(前尾筋一種)、線細胞等ニ極支別
ナニモシラム

極大

極二大小種々アリ四ニガラ之異ニ系統ニ成ル

Species

イモリノ角膜 \rightarrow *Oreithia Hornmantopithel*

人臍線細胞 \rightarrow *Mensch Drüsenzellen des Sambreas*

人表皮細胞

\rightarrow *Omphal Zellen*

人

(七角體) \rightarrow *Primordiales*

Perigrasse

{ 十六
廿一
六
九

廿一
六
四

五
四

十
五

家兔頭、皇后管、上皮 *Kaninchens*
小牛脊髓、運動神經細胞 *Kalk matterische Zellen* 口一、六
十牛、ガゼー氏神經節 \rightarrow *Ganglion Gasserii* { 十九
廿一
六
九
四、五

{ 十
九
〇

小牛 細胞 \rightarrow *Hyaloglasmuskun*

其以下等動物或一卵等ニ尚ナシル

極、數

極、數、一細胞二極ナリ併ニガラ肝臟細胞如クサアラヲハニ極ヲ有
ケルモアリ其後多種細胞アリ之ニ數十個乃至百個アリ之ニラ巨胞
*Riesen Zellen*トシテニ一般骨髓 *Hauschennmark*中現ル而ニ矣
骨髓中ニラシテ説骨細胞 *Osteohlasten*ニシテ以下等動物ア
ラニ多核モアリ多核細胞、病的ラニ一生ス腫瘍(癌腫)、如ニ

仁極中、四至六、四十口正ナシル

極、物質

核：先の主たる Chromatin と Nuclein との間の結合を成形する。

Parashinim: 極端なナリ 美モノ生ツ漆色し難し尾ノ全ヲ不溝物アフエ

Prem: Para Melorar la Producción

Chlorophrynein: 植體、物質(+)

漢書卷之二

即 *magnesia* 諸化

以上は カルボン酸の pyreninと anthroquinoneとの複合体の解説である。この複合体は、salvarsanの活性成分である鉄蛋白の構造式である。

破解之

而シジ Limin、細胞壁、Phaslin、善ク類似之保ニ性質、固有ナム概モ
同一物ナリシニ「カツリヤ」也、Limin トハ名稱ア附セシ「カツリヤ」ナラレ
又滲色性(模)ニ就テ論スレ Chamaelin、脂性、色素ナ、又善名浮ニ、又
Pyromin モ正午ガモ性 中性、色素ニ怪色セラニ其色ノモノニアコトニ極リ浮
色ニル特異ノ色也、國々サルナリ

24

細胞核子

細胞膜

細胞膜、細胞、邊緣、取巻きたり一體、古機言エシ、細胞、周囲、薄層
ナニシ、幼年、細胞アリテ、理シテ保ヒ或ニ細胞ニ想ル、而シク且膜、署
ナシアリ、又長テ、薄弱モアリテ、有膜、細胞、人、游離スル、球形セ、
又至有膜、アリテ、此カジ、膨張ス、錦被類、更カ加、勃リカフレバ
薄弱多、溶解シ、百キナハ、墨シ、膨張ス、例ヘ、腸、柱状、上皮、細胞
如ニ之、有膜ナリテ、水ナカレバ、膨張ス、表皮 Epidermis ハ、表皮
(被膜) *Epidemischungupher* (鱗片狀因吸)
如ニ之、重ヌカシ、深液 (毒物)、毒産) 加シ
著シテ膨張、保ニ、重層、深層、若ニ細胞ナリテ、膜、有カズ、老年
細胞即、之必ス、有ニ、具他脂肪細胞、角質、壁、内界、流
生セガルナリテ、遊離モアリ得、具他筋肉、結締膜 Sarclemma ハ、其一種、
膜、強、著明セリ、故ニ、厚セ、筋膜、又下葉、胸筋、ハ、例ヘ、
Sartorius *Synergium*、如ナリ、有、体、内ハ、膜、有ニ、之、即細胞膜ト
且做ヌカシ、如斯細胞、錐形、或、セラミック、透、透、(アミド、ナトリウムナナメ
傳形)、高、セ、之、變、薄セ、更ナシ)、而シテ、膨脹、如何エリヤニシ、
細胞、你ナリ、出来セマヌカ、細胞、周囲、薄固、依テ成ルアリ、又是毒物、含

物)、附着、成立、ナリ、故ニ、第、細胞、只、有セバ

細胞、形状

細胞、原形、球形 (臍、胎生、内)、生長、ナリ、原形、ナリテ、
アリテ、白血球 (淋巴、巨细胞)、脂肪細胞、其化多カ、線液細胞 Dendo-
enapt Zellen ハ、四形、シテ、石ノ
耳也、種々、形態、有、シテ、ナリ



(一) 圆板状 Linsen schalenförmig
盃状 球形 又圆细胞 膜

(二) 圆柱状 säulenform (Cylindrisch)
柱状 三角形 Kugelisch

又 内细胞膜 水晶囊ハ、此细胞、膜

(三) 锥体状 Kegelform Tyranniform 四柱状细胞 卵 (附着部)
細胞ナリテシナリ

杯状细胞 BecherZellen 蓝毛细胞 Blauhaarige Zellen 膜

(五) 星形 Cell Sternform 田字细胞、需要、室起、生ゼンシナリ

多角形細胞、多極神經細胞現象



(六) 鋸齒形 Spindelform 條狀細胞、兩端細胞主之、結締組織細胞、椎骨節細胞(鐵維)現之又中之細胞也

肉細胞表現現

(七) 多角形 Polygoneel

圓形細胞又四邊形、壓縮性

肝臟細胞(肝)、肺(肺)、胰(胰)

其他一方向、壓縮之、扁平形之至之

(八) 扁平細胞 Plattenzellen 又之、圓形細胞下同上者之而一

四肢、心臟、肺(肺)

細胞之大、就之、伸細胞於種多例

淋巴細胞 Lymphozytus

神經細胞 Nervenzellen 脊髓、前角、細胞

眼、耳、腦、腎細胞 Iriszellen

擴張筋細胞 Bergstrichter muskelfaser

(數(数)カナヘーテルノウス(筋肉)、(筋肉)、(筋肉))

其他下等動物ハニヤリ、なむ、動物の細胞之大、而、ラクシ

ミクロン micromillimeter: 1ミクロン millimeter 千分之一相等

細胞、生活現象 (生理的現象)

Lebenserscheinungen der Zellen

細胞も一、生活体たが故ニ生活現象(即ち體的現象)有之其細胞、就テ、吾人身體、如、同、生現的、作用有之ナ

1 新陳代謝 (物質交換) Stoffwechsel

細胞、營養物、傳由、而、之、作、內、於、酸化作用、及、氧化、而、不、必要物質、傳出、淋巴、傳、新陳代謝、就、外、而、不、

物質現象 Stoffaustausche

物質變化 Stoffumwandlung
物質循環 Stoffhaushalte

細胞取、物質、吾、如、固形物、流動、氣也、取、而、其性、少
氣、或、傳、之、蛋白質、脂肪、含水、及、水、等、而、傳、由、於、酸化
作用、根、之、種々、物質、之、變、之、即、營、素、含、有、物、例、之、尿、素、尿、酸、如
之、外、淋巴、有、要、之、傳、由、萬、物、無、不、而、之、然、起、所、何、可、
取、之、即、血、液、之、兩、之、淋巴、想、之、沒、兩、之、之、傳、之、萬、物、不、必、用

物質、再び四肢半身を取り入れて、而して固有、部の消化管（例へ脛筋筋膜）
如て瓦斯、如て酸素が肺、呼吸、皮膚、舌、血液、肉、耳、瓦斯、血液
循環シテ諸部、細胞（如斯作用の細胞一個に於テ限界アリ）又細
胞、細胞廢物（即ち不要物）ヲ体外に排泄スルノナラズ、身体、乾シ必西マヘンモ
ナ形態ニシテ傳カ、是故（之に體外排泄物）体内ニテ變化、起し生ダヘント）例へ、
脂肪混じ乳化、細胞、肝、肺、脂肪球、乳化、有之而脂肪
乳球、傳外、拡張ス、且、唾液細胞、及、脾細胞、如キシ、臟器、颗粒
ヲ有シシテ傳外、拡張ス、之シハ消化、向テ又、因タルマツリ、又肝細胞、成モハ
ダクニシ颗粒、有之、之シテ同シ、消化、向テ又、因テ、颗粒、腸、粒膜
、細胞、傳外、拡張ス、有シシテ傳外、拡張ス、之シテ必物、物能ナ
其の毒血球、如テ、生細胞、モアラ、循環、中、ヒモグリビン、Haema
globin、色素、リコピン、具化素、颗粒、層、stratum granulosum
、如テ、瓦ラビ、颗粒、生シシテ、新陳代谢、急、生物、引波物等、
變化、復生、生長、生々、而シ前段セ、未、血胞中、アラ、細胞、アラ

卷之二

Bewegungsverscheinungen der Zellen

(一) 流動 *Strumous Languency* フローフラニヤ流動
循流 *systromancy* (Protostomous streaming)
其運動、如ク細胞体、於液体、運動ナラシ (即フプロトプロテイク細胞モ流動ナラシ) 其運動、有種、細胞体ナラシ (即フプロテイク細胞モ流動ナラシ) 其運動、如斯、細胞、大抵有體、ナモニラ其流動、於ク、實、運動際、音、ナ法レ、形状、要、支、ニ、モ、ナ、植物細胞ニ理、ル、動物細胞ニ、稀、ナリ、併ニ、動物細胞、於クモ、單細胞動物 *Protozoan* リ、理、ル、モ、ナリ (無、無、細胞、何、シ、起、ル、ヤ、シ、細胞傳播、代謝ニ因、モ、ナリ)

(二) 病運動 amoebic benignus (瘤狀運動)

運動動物細胞之視力、流動力與運動前導之關係
運動細胞故此稱之（アメーバ即ち其一種也）如斯運動之
覺醒、細胞（羣細胞）如キナリ其運動障礙之種々、形狀之異
即4 1 形變化 Formänderung 又稱之位置運動
位置運動 Position and Bewegung ドリ如斯運動

↑↑↑細胞の即日血球 Meiss Blut Zellen 記事傳 Longkhot
nischen am + ハラヒト運動 箱子 捜セントルニ 離、因縁り

桂，也讀

A diagram showing three separate ova, each containing a small circular nucleus-like structure.

而リ之ヲ接エベシ他レニモ有ハらず下ニ於テ赤白血球ノ兩球ヲ見ル
而テ赤血球ハ(赤タノ量を多量)極リ有ニ白血球ハ赤血球ヲナシラ
多ク想ル然ル所ハ某白血球之注視ニシテ白血球其匪動ニシテ
漸々其形ヲ察ニ生シ微少ニ至ル其ノ不規則尤ニ

有核二箇、形ヲ短視不外、形狀ヨリモユルシテ種々
面テ得ベシ。如斯細胞ニ向テ一ノ分子ヲ（祖易キ者青色）テラ
見テ此フルハ「運動」細胞傳中ニ取リヘシ傳中ニ隙
見ルベカラんニ至ル。又時々至る事無く再び傳、表面ニ視セス之ヲ
ムラ見レバ運動細胞也。如斯ニ取リアル、且ル故ニ固形
物ヲ摂取スル法、認氣エラ得ベシ。且代流動物等ニ如斯
モ是細胞於ク摂取エリナリ。如斯四營養食物ヲ攝取スル
細胞ノ飼養營養 *Feeding & Nutrition*

吾之生活處於毛細管間或隱或現細胞前以之毛

細官の壁ヲ通テ出シテアリ之ヲ遊走細胞 Wandering Zell

ナラ身傳ニ取ル例ヘバ バクテリヤ取ル 次テ消化ニ及バ 弱細胞
ヲ食ス流ニ同物ノミ、即ち食セシム之シト食細胞 即ち *Microphage*
トナラニシ、動物 學者 *Mitochondriophagia* 又、各ノ瓦斯ノリ流ニ弱細胞
龍星ニ一箇バクテリヤニ食セニシ自身ヨリ強ク敵、食元ノ弱
ハガルナリ。生細胞食セシテ死バクテリヤニ一官ニ侵エアリ
ニシテ、血漿中ニバクテリヤ往ヘルシテ接下ニ強烈スニ一時脹
ル、又久留多々之シ避至細胞中ニ現ルエヌナリ。是れを運動
の上ニ復シ之シ浮遊し或ニ停止シ得ルナリ。



「抗力弱了る事此毛、破れ、アルル、中間部を破れり是
部残ルナリ

毛素、對テ、固像ニ種アリ (是ニラニ纖毛管運動能、多能性)
根部、刃中に特行之尾ニ或ニ纖毛細胞ニアリ試す者ニ根部

ノラニ、其ノ粗、シジ見テ、ソレ得之、用スル事ニ

タノ、重液魯母粉加水液、10%、氣焰火

ヨリ、加フニ、胞著ナル得、其根部、形狀、細胞、形、徑、推
体状、ラニシテ、而レテ Engelmann、ハ、浩且 (カラスガヒ) Chodat、
トヲガニ Fuchsmichl、被蓋 mento、纖毛モ、研究セラレキ事
者、昌ラムナリナリ

「観察、気管、上界細胞、奴等、遊離ニテ、且ル所、体上部ニミ
一、處ニ纖毛、傳シ見ル」 (纖毛、ラニ見ル) 細胞内纖毛、裝置、
Intracellulare Haarapparatトシ、之ニ何ニ成ル、ナム、則也セ、
併シ、甲魚、蟹形アリ、利多セ、アリ、奴斯細胞アラク、毛が離ル、
而其遊離面、遺縁 (Janus) 有ル之ニ、此前、細毛細胞、附
着部、之邊縁、且ル之、遺縁、細且ル所、内、一つ、管の見ニ

ト三ノアリ

「体、於テ、纖毛、間隔、限ル、部、喉頭、氣管、氣管枝、口鼻、喉
門道、明順、立部、距以、管、中耳、一部、是乃副鼻孔、管、支、
ノ且、父、輸卵管、子宮、腹、上部、限ル (前後、左、右)、即、喉頭
、丸、内方、外方、向、左、右、物、活物、アリ、外部、士サム、輸卵
管、卵管、子宮、卵管、アリ (前後、左、右)、即、喉頭、並、左、右、

以上論じ、細胞、運動、何、仰用、起ルヤ且、即、收縮ナリ、拘テ
エーテ、直、收縮、シテ、運動ナリ、而テ

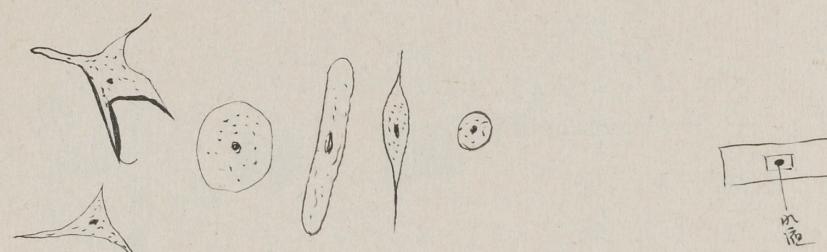
アメーリ運動、收縮、同一堂、粗則、古ノナリ、故ニ、種、形狀、星、圓動
、就、就、論、ニ、是、運動、形、位、回、テ、度、即、毫、細、リ、出、シ、運動
ノナリ、是、運動、陽、ニ、是、起、テ、出、シ、具、室、之、他、物、觸、ニ、肉、室、起、收
縮、シ、シ、モ、キ、ル、而、レ、シ、外、部、於、テ、收、縮、作、用、リ、ヨリ、ナリ、是、カ、為、又、
消、化、セ、ラ、ル、ナ、リ、ソ、ラ、不、可、物、細胞、シ

運動、直、物、統、率、滑、ニ、細、胞、伸、シ、收、縮、伸、シ、直、物、カ、シ、
觀、ニ、運動、ニ、細、胞、收、縮、ス、ヒ、ナ、リ、之、收、縮、粗、則、エ、シ、運動、ニ、
者、直、動、神、ニ、仰、用、シ、而、開、シ、觀、カ、シ、ア、ラ、可、ナ、リ、其、ヒ、收、縮、作、用、

アカル如何トシテ、運動ノ時ニ別ニ離ストモ、同シテ運動ヲミラヌテ、
至運動ハ、体ノ運動セラモ、又、運動ニモ、即ナ、卫衡ノ宮形
セシモナリ。筋肉微例ヘ、握は筋肉微、氏々、粗則ヒシク、運動
(伸屈)ナニヨリ、體反筋肉微、收縮、神ニ、閑係リナニ、即ナ
匱弱神ニ、閑係ナニシテ、體、筋肉セシム、運動セリナリ。
又、單細胞動物、於テ、體也類ト名フルモノ、於テ、表面ニ、一、運動
许多ノモア有ルモノ、之等ノモ、運動シテ、無物ヲ獲取シ、併リ、
之等、毛モ、口也、體モト同シキモノナリ。又、單細胞モ、數モ、
ナリ、其毛數ニ、種タリ、保ヒモ、概シテ、大キシテリ、之等モ、体形ニ、
ヤズシテ、毛ノ運動ナニテ、精虫。Gammarus, 運動ニ、之、體毛
運動ト同キモナリ、流、精虫、種類ニコツシ、固ナリシナリ。

分子運動 Molekulare Bewegung

運動の調節傳は理ならず難能、運動之ノリ其状而行無踏ノ如ノ例、
色素颗粒の旋轉が如し其色素颗粒の調節傳中、於之運動又其運動
ハ猶停半アリテ、且運動之ノリ人土ニ依シ運動也ノルヲ得



精子管中、精子一滴と置く之、中、褐色ノ墨ニシテシテ墨
シ下、塗シテ溶液、匂動ナシテナリ且活性、孰シ端ニシテ色
素粒、生活運動アリガヘナリナシ、次第匂動、少シ運動ナシ
ナリ故ニ體正効用アリクボシ運動ナシ全ノ形態ナヌニシテナリ

細胞の漸々生長で具生長するに加え一方、倒す生長セルビット各方面

右方ニ何ヲ生長シテ始メ、四形ニテ是しき、歛ミ之、ナリ。右方ニ向ウテ宋
朝ラ出シモナリ。例ヘ、神ニ細胞或は彷彿、微細胞ノ如シ。

母早胎全中、生長、極合て、互連し、生盲生長せり。モアリ例へ、毒
一頭白血球（淋巴細胞）又線細胞、如し又重疊表皮、深層、如レ
二看、移別生長せり。ナリ又之ニ及ニ筋細胞亦ナシハ若シテ
一長さモナリ。神乎細胞成モ大キクアヒナリ又生長間於テ
一後ニ変化シ起シテ、生長スルナリ。ナリ即ナ體外筋細胞（纖維



前へ之の種種の致り生し事なる多様アリ(之と並べてかどる)

胎生部生長ニ生命生長アリシテバ也、固而リ有ス

細胞現ニガル化部(造血)生長ス故ニ胎生ノ内物ニ、物ノ不生

之故ニ細胞数アリ増加ナカルマリ例ヘバ線細胞、如シ如斯

細胞生長ニガルアリ、P值モ極モ生長ス其中多シ生長スル、
P復テ胎生時核ト脱セシ接ト、尤モナシ保シア也、多
生毛ス、シタ事ノ生ニ見シ得シ、細胞生長上作用ア
值ニ及シナリ即、体アリナリ新陳代谢アリ、体大圓厚ナリ

1)

4 細胞、生命 Lebensdauer der Zellen

細胞、生命、孰ノ利少セイトテノ能ニサムナリ流レ利少ナリモアリナリ
即テ短命ニ素易細胞ト、長命ニ筋肉細胞神經細胞ナリ其生命

孰シ論スレ

青空細胞、如キシハ角質ニ蒙ニ身体ナカニアリ無ニ成、下脣等ニシテ
換ルナ

餘細胞、如キシモ利少ス例ヘ、皮脂腺、乳腺、回腸丸、卵巢等、即テ半、或

“此有二種ノ物有シ、以シスト共、細胞”消失ニ即テ眼膜、
脂肪、乳導、乳球、罩管、精虫、卵巣、卵、如キシナリ其也
赤血球亦シニ身体、破解ス所アリ(肝臓、如シ)テ赤血球、消失ニ
ニ白血球、赤血球トコシ同部クテヌナリ

毛髪、如キシ換ルニシテ毛髪、生命ナリ

骨頭、如キシ一方ニ漸減加シニシテ、又ニ漸減シ例

ヒ骨頭ニ漸減加シニシテ内部ニ漸次、起植ニ内部即骨髓腔シテ
是謂ニ内部、即骨、起植ニシテ骨、生命ナリ、增加ス

加ハテOppositionserscheinung トニシテ、作用 Action
Tierverschering トニシテ、身體、諸部

神之筋節、如キシアリ增減アリ併ニ之即テ、就テ、即テ削
烈ヤガルナリ且病的、ニシテ、其增減ヤ利少ス

5 細胞、繁殖 Protoplasma und Zellteilung

細胞、蓄殖ニ極ニシテ細胞、增加ス而テ其細胞、向テ、雷祖ヘヤナリ即
細胞、細胞アリ蓄殖スルアリ、之、就テ山ヒヒウシ Kichou、株

アラ Gramis cellula e cellula 二層の母胞子が分裂して2層の
加えより其の2層又は官能的2層ア

① 直接的2層の無縫合2層

Directe Kerntheilung

Amitotische Theilung

又間接的2層の縫合的2層

Indirekte Kerntheilung

直接的2層

直接的2層の基状葉、生つ初、核を数多く生じる、胞体は縫合せられ
致密な1個の2個のリナリ

内、古來の細胞、多角形の如斯有する事にて理解され、近頃細胞學
説、進歩の事に隨り顯微鏡の精度向上、而して、如斯單に間接的2層の
毛細胞等の如き、例へ淋巴瘤細胞、等々、直接的2層の事こそ宣言す
様子併し、更に見出る。是れ、一種、淋巴瘤細胞の直接的
2層の事である。且他の多く、多角形の2層の、間接的2層の又多角形
の事、直接的2層云々、直接的2層或、無縫合の核の2層云々

間接的2層

間接的2層の増殖でこれを主とする、「アレニング」氏、即ち2層の
核名アリ

1 核密動 Karyokinetic mitose Mitotische Kerntheilung
Schleicher Schleim Schleimengeschleim

蓋間接的2層の核の變化の起る(即ち2層の動的起る)事、即ち2層
の核の2層の増殖が大半に核保有が單なる事すら之が總て、2層の2層
の核の2層の増殖が、2層の2層の増殖が、2層の2層の増殖が、
而して其の2層の経過は就て従つて生ずる。

安靜な母核の象化の起る

1 母系胞期 Mutterzelltand Cytotaxis der Zellen

A 細密な胞期 dichte Zellwand

B 疏密な胞期 dichte Rauel

2 跳躍的2層明 Schläfen Theilung der Stützenzellschichtung
3 母母胞期 Mutterzellen (Aster maater) ^{母の母}

母母胞期 Mutterzellen (Aster maater)

核被膜 Kernplattte

Kernplattte

4 跳停子離明 Schlüpfen Trennung

跳停離明 Schlüpfungsabwanderung

分 娘 星 明

Tochter Ruamel

♂ 媽系離明

Mutter sterne (Mutter Dargelster.)

A 粗離明

lackieren Ruamel

B 細離明

dichten Ruamel

ワ 妻離明母

maternum tochterleerne

1 母子離明

星明於子生ノ核綠集ノ卵ニ源集及仁消失ノ子孫集ニシテ

A 細密子離明

於子極保集ノ細密ノ子状ノ浮游狀ヲニシテ細密ヲナラ居リ而シテ路停

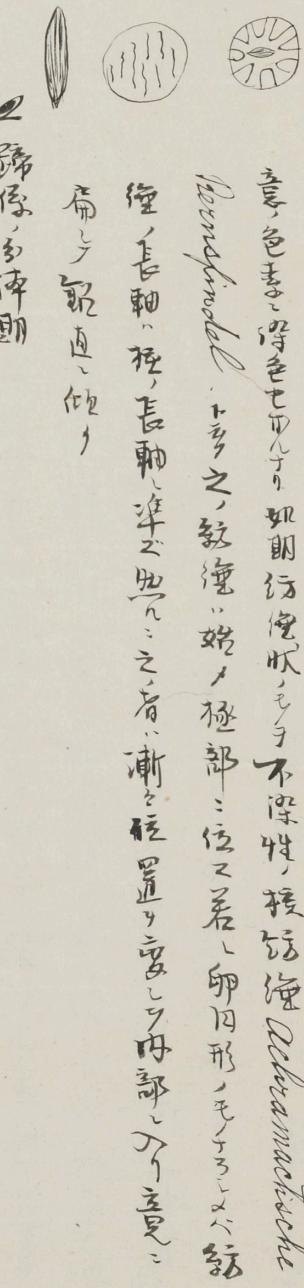
、頭ノ一向ノ星核ヲシテ卵円形ノ核トシテ長軸ノ直角半之

B 粗離明母

星核ノ星極保集ノ絆端シテ子ノ頭ニ過渡狀アリ而シテ路停

、長軸ノ一側點子ノ星明於子ノ内ニシテ現處ノロ

之ノ極部於子房渾狀ヲシテ頭ニシテ細密集ノ子離明特



2 跳停子離明

綠集、形状、綠集の子離明彷徨狀シテ不降性、種彷徨 Achromatische

Panzerschilder。子ノ之、數度始ノ極部ニ位ニ居し卵圓形ノ子ノ内ノ子離明
極長軸、短、長軸、準之出で、之者漸々短置リ密ノ内部ノ子ノ星明、
而シテ頭直、他ノ



3 媽星狀明

星明於子「彷徨」粒中央、船直、位置ヲ占ム又跳停、頭、皆直向

アリ而シテ粒状體極部、於テ放保素、蓋保素アリテ細放保 Palato-

alilungeト名づケン具極放保、其周囲ニテ胞体即フロトフラバマ申

移行シ而シテ内方ノル、粒中ノ粒深渠、附着ニ具障壁部、リジエント向

故、其直物、名称スル如ク、而レテ極放保、細胞附着モリ、被置放保

Mantefansstrahlungト名シ放保、極ト極ト紙ナシヌヘニ細保導器 Dromeda

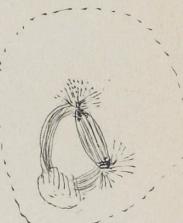
ser トク

被放保、向ヒ部アリテニヤ胞体一部、發生ニ中間体 Contramano、極カ庫

Totkugelchenトカ庫 Attraktionsphore、中央體、攝取管胞庫、或

部、引カニ保視ニテ、是保ソ極、尾竹ニ透明、シテノル其甲ニ、部、中
之体視ニ且視ニ鷹時、粒、極、向ヒ部、而シテ時、ユガカ庫、中
保少銀保、星形連アツメ中之体、圓圓ニ透明、量視ニ或時トシテ、安
骨周國ニ放保体、シテ視ニ而シテプロトウジガ中ニ移行ナシキリ、而シテ其有
ハ密群、時耶、シテ視ニ保シカラ、且視ニセシ是ニテ、多
う胞元、细胞、精液细胞、卵细胞、リニテ乾年勧加圓部也、其代前
體勸加ニ視ニ其他角(Hechta)、色素细胞 salamander (イモ)、幼生
larva (オタマヤシ)、固毛球、織胞、視ニ具色胞、青细胞、モノ、幼生

粒放保、向ヒ部アリテニヤ胞体一部、發生ニ中間体 Contramano、極カ庫



4 蹄保引離期

感呼傳極運動期

足取ニ於ク、赤通一部、頭ソ前ニ集ヘ、粒ニ集ヘ、蹄保ニテ、引レテ極向
シ進行シテ、一ツ、又極即テ前極、向ヒ進行シテ、其者、漸々極向
ノ自ム日、シト同时、被置放保、被置

左期 二月二日、南極に向う運動部隊乗、且最早南極へ近接ス而しう歸途
、脚、漸々敵向ニ向ひ、中期、乾燥、防寒、修理、ノルマ何トか、被毛並彷徨、
短縮シ輪保條ヲ想ニリカナリ、猶ヘコシベ輪保條、赤道部、既看ト
ハシ故、歲モ先極ニニシノ日本、伏ラヨモニ次ラニツ日モ期、名候アリト

娘子頭

立時見三點紅神字，並題下御密參極則二子

其方隊衆毛髮見於前、筋腱、赤道部於後、緩掠之而即一挾、二
引曳之微候、而後具較掠之、通之、緩斷之、且時
則、短之、蹄角、弯曲、尋覓、口主之侯、尋逐、日暮、移轉
リ又す、且、系、越、走、也、起、出、統、向、カヘリ、又、馬、不、深、進、極、限、生
シ、而、テ、接、訪、淹、滞、失、レ、被、蓋、綠、衆、モ、不、朋、ト、シ、侯、シ、テ、ラ、翌、期、於、ア、ブ
ヒト、フ、テ、ズ、マ、中、移、行、セ、モ、ノ、現、ニ、信、シ、是、シ、欲、シ、不、加、ト、ナ、ル、而、シ、テ、最、初、胫、ノ、生、大
ハ、部、ニ、古、通、ノ、部、ニ、ス、且、蹄、角、、放、リ、出、シ、テ、伏、シ、頭、ニ、方、ニ、向、ク、集、マ、ア、強
ラ、シ、而、シ、脚、リ、向、ツ、ル、モ、一、方、ニ、ス、極、チ、シ、タ、レ、部、ニ、極、部、ト、符、シ、脚、ル、部、リ、對
孤、部、ト、符、ニ、具、狀、混、シ、娘、羊、也、綱、索、參、誠、則、ト、而、シ、テ、至、期、待、
リ、至、シ、シ、後、被、保、余、モ、消、失、シ、不、深、惟、複、體、リ、被、シ

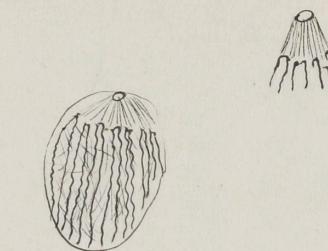
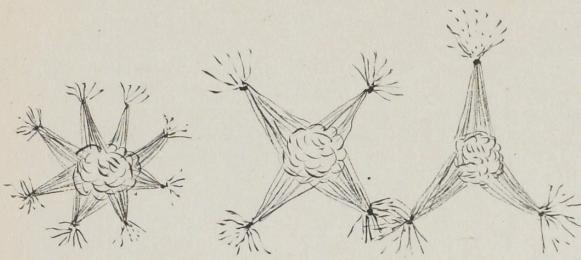
七 妖舞娘狂期

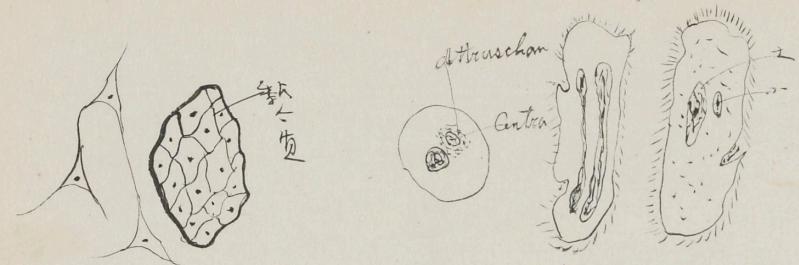
翌朝、於ノ細胞傳毛絞病ニ至ニセラ故ニ是時ニ至ニ各種ノ有ニ二細胞ヲ得テ、極ニ於ニモ一様矣。第二像矣ヲ也ニ銅ナニ銅流郎毛根ニ仁ニ最初ニ無也。是耶ハ仁毛根ニエナリ至ニ即ケ全毛ニ二細胞ニ成ニ至ニ細胞暫時生長シ又ニ傳ニシテ

次に中期中期（～末期迄）進行部地 Prophasesen と第四期の中间変化 metaprase(metaphysis) と中期～後期（～第7期迄）進行部地 Chrysophase

久病の間接合体ニ種々之等体アリ殊、病的アリハ極、許多、想ニテ
マリ如斯モノ、三極四極乃至五極合て体Drei—, Kincu Mechanischcan Thelung
トヨウツーハ病的ノ部、细胞等は直ソ癌タニ易極ニシテナリ又通例ニシテ久病
ヒ止咳同ニテナリ、但ノ二十日叶ニシテアリ其也強合体ニ間接合体ニテ
内生 Cindogene Zellbildung トヨウツーハ、初體中、於テ外合体ニ改體半

26
一例、細胞アリ、數箇大、至ルアリ例ヘ、軟口唇細胞ノモナリ且
不完全性腫瘍 *Vermicular tumour phlebitis* トナリシ、腫、ヨコレニシ
核ノモロ酸アリヒテ、多核細胞、粗ハセモノナリ例ヘ、多核細胞異常アリ





肝臟調節、膀胱之空、表層、巨胞、強健以助鍼治(細胞)等ナリ之、等ハ數十角
多ナリ有ニ其内巨胞、於シ肺喉嚨物、胞也、骨髓細胞、於シ、多歟、
傳狀ウロエヌモノナリ也

生葉 (ひやく) の 植生 Spraden Ruoppenbildung

之、細胞一部ニ於ク管腔内長管即アリ生ズ而シテ其細胞、核カ少し
且度起申、独立露出シタル細胞ト主ツ分離スルモノリ之、五色也、又う血
管五尺也、想ハシムナリ

無核细胞 Kernlose Elementarorganismen

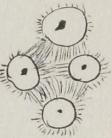
著细胞の粒細胞にサルモナツ星細胞と特セシ、充ち研究室、凡てがトコロノモニテ説三
モ核ノ血色モノアリテ之レ、プロトプラジム、塊ノリテ、其半一種固有、核が現
ル而して之無て核シラ Gystation トキニ、下部動物ニヨリ即ツカガ Monoclon
属、ヨリ現ル之ニサシ有核ノミヒタ Cellulal トキ而テ當時之ニ執
益々研究スル所ナ保ニ無核ノミハレ日暮ノ疑ニモアリテ、無セ核ニ、下部
動物ニ現ニヌ哺乳動物、赤血球ノ膜モノニモ核ニ無ニ成ニ、生後過中、
核失マシナカニ如何トシテ、淋巴細胞ニ核ニ有スルナリ而して淋巴細胞ノ赤血球
トナル際ニ、モグロビンナムモナカ有シテ核謂之、赤血球トナリ、又下部動

物質：細胞、細胞外液、細胞間液、間質液、血漿、淋巴液
細胞：單核細胞、巨噬細胞、樹突狀細胞、T細胞、B細胞、NK細胞、Dendritic cell
免疫細胞：巨噬細胞、樹突狀細胞、T細胞、B細胞、NK細胞

面積：下部動物二個品目 *Paramoecium* (ヒラリモ目) 及び *Nannina* (ナノリモ目)
面積：上部動物二個品目 *Haplospira* (ヒツジモ目) *Micromonosphaera* (ミクロモ目)
ラバ粒 (森林) *Cochliobolus* (*Micromonosphaera*) は下部者より傳播する。葉の
傳播基點は、主に西海岸帶、網礁帶の間に、散生する細胞植物等に
見出される。

細胞互關係 Das Verhältniss der Zellen zu —

細胞の互い結合による其の種類、種々の細胞間質 (Inter cellular substance) 成る粘合質 (Kittsubstanz) 由之流動セルル而して是物質は透明にして各細胞間に現るソラニウム試合は其場所於て顯微鏡下に核に寄る細胞と細胞と互接觸するが如く然ては或へ試二系例一は硝酸銀液を加へ見れど二者一黑色トナリテ呈



ハルニシテラジブニヘリ見レバ、細胞満弓ニ、異物直ナリトウ知ル。又或詞モリテ、新元直ラ、溶解ニキハ、勿細胞、遊離スハリ而シ細胞間質ト、孰ニ直ノ量ニ増加シテ
ル即ク島ノ多キモノヲテヌ且日見極多量ニシテ、之シ細胞ノ量直トテノ異化矣
起由ノ故白クヘモアリ或ニ、其室板短者アリ、棘状細胞ノ如キ是ナリ。上皮、深

中等教育 Secondary Education

细胞间隙 Inter-cellular spaces

細胞間隙たゞ、細胞ト細胞ト間、現に、物質ニシテ之ニ、軟キモナリ其内壁
堅キモナリ、而ホカシノアリ、或弱ミテリ得或ジテ全ク透保、物アリ而シテ者、細胞
リ通スニカシクヘキアリ、如何トシテ、脂毛は、細胞、ミアルモノシテ生長スヘ、後テ支、口直
シナシ、胞、調胞、通ラルコト明カリ、而シテ之、間隙、何ニキ、生ヌルテルヤト
之、細胞、シテ、此モ、ト又細胞、因、固助テ、表面、厚シタト、或、細胞、空隙
ト、變シタルモノト、諸段アリ、一也、モ、可レハ、何ニ此事、作用、依テ生ヌル、細胞、遺ナリ
子、生、及、死、日、月、年、多共、隨テ、其名、異ヌ、其状、是ナリモナリ、新、命、直、成、統合、實ト
カフ、之、其、最、保、ナリ、江、試、莫、力、急、急、アラカヒバ、換、直、シ、丁能、乞、者、

上皮细胞、内皮细胞、滑膜筋细胞等，其间距几毫米（故间质二细胞就
只隔一个空隙，细胞就互相接触），至间质细胞壁下即见之而无细胞间隙，故称有孔毛细血管。其量多，分布广，厚薄不一，呈扁平形。
Glandular stroma

下之以具量多于均之體微鏡下於細胞上細胞間之於兩力：

ラ金ラモアリヌ如斯ニニハ空ク同質ノモナリ、「有形モノ想ハフリ且有形ナシ即
有形细胞間隔ナリ例ヘバ粘液組織、如ニ同質ニテ粘液素ナリ含ム之ニ軟
物質ニテ類似、又軟骨組織、如ニ同質ニテ軟骨素ナリカニ例ヘ確
子軟骨亦ニ或ル方法、「見ル」「有形」物質、粗忽リ透ク成ル結缔組織、柔軟
性強シ者アリ之ニ二種名狀、「颗粒」「索状」「極細」「索狀」「微
細」「束状」「之」「束」「方向」「走ル」「如斯ナリ」「結缔組織ト色」「タヒヒ
者」「佛」「ニ」「一」「種」「堅」「直」「シ」「ミ」「之」「一」「種」「タヒヒ」「金」「方」「ス」「又」「至」「空」「質」「半」「年」「
五度復類シヨリニ「前」「既」「ナ」「ハ」「例」「ハ」「骨」「筋」「止」「筋」「是」「ハ」「者」「又」

權力意識トモ者、拂フ日、所謂彈力主義（エラスチシズム）ヲ殘留ス。以上ノ者、『調略外ノ
事代ナリ

詩文合集

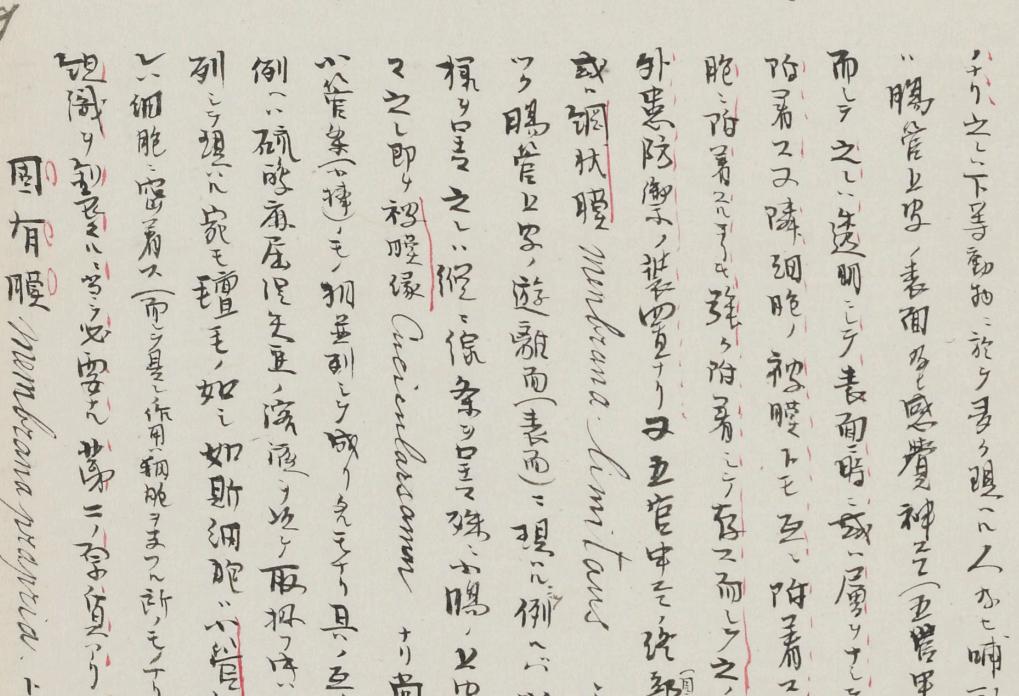
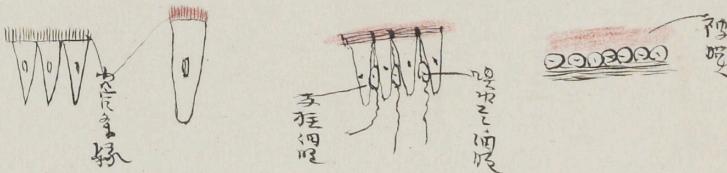
以上論じて有形物質中、視之なれ鐵微、各細胞、間、口等の空隙にて、皆間胞
胞なり。而して此等の間胞は、最初の細胞より次第に間質を生し、次第に有形物質を呈
ス。且之新質は、間質の上に、而して前述の如きの口等の之に接して、細胞を変じて直ぐ
滅滅する形態を示す。又、此の間胞は、更に細胞体、變化して、例へば筋肉胞、骨肉胞、
如き筋肉胞、又、長筋、筋、筋、延長筋等と曰ふ。其中、筋助筋肉胞、骨肉胞等、
筋肉胞等と云う神經織胞、如きの細胞が、また、更に形質中、神經質、筋肉質等、
即ち、骨肉質、筋肉質等と、生じて、かゝる連りの神經質、筋肉質等の細胞を直ぐ

酒獨而復理、血液は是より血液一つ銀閣す即ち洞胞、赤血脉自
血脈より血脈、血脈ノミニテ、通フリ得ルハリ其間ニアルニ酒接ノ即
間角ノ是召貰、流動ヌ故ニ血脈、流動ヌナリ

被膜瘤形 *Cucumaria bilobungen*

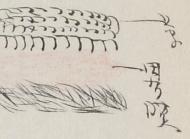
之細胞、表面於人體上所見者、有三種：膜、纖毛、物質。而此之被稱 *Cuciculus* 者、如何？成焉者、有二種：細胞多者、成之也。

ナリ之に下等動物ニ於ケモ現ル之ノ頭部
“腸管上界、表面多ヒ感覺神經（五感神經）、終部、止界、表面無ヒ頭ル
而レ之ニ透明ニテ表面時ニ成ニ層ナシニ理ル、之ノ被膜、細胞、密ニ
附着スニ陳細胞、被膜トモ互ヒ附着ニ而レ隔細胞、被膜ニ附着スニ細
胞、附着スニ強ニ附着ニ而レ之ノ者、細胞シテ圓盤セヒシラ種々、
外壁防衛、被膜四重ナヨ立官中ニ、院部、表面署ニ頭ル、モリ複眼膜
或網狀膜 *Membrana limitans* = *Membrana reticularis* ト
フリ腸管上界、遊離面（表面）ニ理ル例ハハ腸頭ル所、被膜、一特特別有
様リ主ニ之ニ附着、係帶シロヨミ殊ニ腸、上界細胞（表面）ニ附着、有シ様リ有
マニ即チ被膜縁 *Circumfasciam* ナリ尚尔之、被膜、孰シ精細、研究スル成
ハ管壁（構造）ヲ、物量列シ、成ニえど、且ニ空洞、依ニ結果はラニテ一種、試用
例ハ硫酸麻尾混生豆、演液ノ如ク取扱フ時、間質、溶解セウル時、一管多ホモア
列シテ想ニ家モ種毛、如レ如斯細胞ハ管壁 *Hathalendium* ラ有ヘ
六細胞、密着ス（而レ是ニ作用細胞ヲ莫ハ計モナレ）謂調節シテ臍管也（其也）



固有膜 Membrana propria.

名はるモアリヒ
史ト清掃儀ト間



於ノ無毛細胞層(體)が根に於ける固有膜より之の位置、併シ
基膜 Basalmembran 或硝子膜 glassy membrane トシテ
主膜上皮層(體)の時々張り膜(彈性膜)屬ニヤリ曰ヒヤリ
即ち膜(彈性膜)トナビア細胞が主膜面に接し消失し無毛細胞ト
ウタベバナリ之の成物即ヒ因ルハナリ又細胞形態ヒ精細網干シラリ

1. 基膜 (硝子膜) Elementare hantchen

1. 基膜 (硝子膜) Elementare hantchen

基部

Dauerliches Capitulum

祖國 "或" 腹膜 Van der eynen

祖國(或)腹膜能剖出之組織、左之細胞系統、就之論之只祖國(或)腹
之就之論之祖國(或)腹膜、就之論之

1. 主 腹膜 Chochiblastische gewebe

之新祖國(或)chochiblastische 腹膜、新祖國

2. 副 腹膜 Parablastische gewebe

之新祖國(或)parablastische 腹膜

而ノ祖國(或)主 腹膜 屬ノ祖國(或)

3. 背祖國(或) Epithelial Zellen

腺分泌细胞 Secretions Zellen der Drüsen

筋肉祖國(或) Muskelzellen Nervensystems

神經系統 Nervenzellen

4. 副 腹膜 屬ノ祖國(或)

5. 張繩直 Duraeustangen

之新祖國(或)腹膜

法傳識細胞
軟骨憩窩

Bindegenübe
Knochenanlehe

Knochen

endothelial Endothelgewebe

淋巴细胞 Lymphocyte

綠狀銀鮀 *Acanthichthys leucosternon*

勝 脱 銀 漢 Petty gewebe
向 通 Best

血
酒

尚ニテラスレテ後

尚之リ耳発生ニ就キ細論ニシテ何ニ
卵子之列管 卵管 Reinblattermutter
1 外胚板 Epiblast Aussee Reinblatt
2 内胚板 Endoblast Yamere Reinblatt

中胚板 (mesoblast) 中胚层 (mittleren Keimblatt)

之等以自足也。尼

且外腔也。至先生之言，所失一表里之二屬，天即外，地即內。陰謂化育，陽謂統一。

端部(即ナホト部)及び主神三面院

内移加了氨基酸新美之
谓仪器、及呼吸器、止血器之属也。

銀細胞

中脫離之氣甚所善而器質生而

既に見ゆる如き、
既に見ゆる如き、

ニ内腔充満シ体ノ上部シテノナリニシヨ。紫生スハシニ、味導管ト血道ち耳副吸ニシテ、カバタ

生ノ都ノシカレ且シテトシノ御城ノ其中早シ御名スルト降ニ

此ノリヤリ再早うより御名ニシテ御事ニ申候。此ノ利害ノハシノ早
ニツク見立事中、アリサシテ其山改ニ通御飛行ニ而シテ其霧色也

内子引到卵、卵是子有之所不至（即母、*uterus*）之卵也、惟此之卵
且二三日到良卯、於此副胚细胞已生、掌形直（不直）室也、室也、卵细胞、

乙酉年二月廿日
記載於上海
細胞如之二葉狀而有二形狀，易認。有乙
字形者，其形如乙，而其體直立，形似乙字。

副駕印譜

目次 Das Blatt

物質 所謂物 血液二成三分其一有形物質

七

Monks

Scanned by

白血病

卷之二

四肢 腹股口瘻 側膜 側膜 側膜 側膜 側膜

諸侯物貞一

血运作用

血
報

血痘、瘡、熱是狼物、禽畜方、而、ノ、身体、首、部、足、腿、過、之、而、ノ、身、障
头部、寒、熱、而、ノ、必、需、大、火、有、之、此、皆、古、疫、氣、血、瘀、血、凝、其、ノ、
赤、血、瘀、如、ノ、互、断、互、接、作用、首、不、即、肺、氣、死、ノ、若、碰、ノ、孤、獨、广、聲
素、り、痕、血、レ、此、ノ、游、走、リ、身、体、先、部、ノ、記、ノ、而、ノ、血、痘、中、ニ、禽、畜、方、ノ、而、
確、物、ノ、而、僵、而、僵、レ、此、ノ、(血痘)、身、体、先、部、ノ、延、レ、僵、レ、身、体、ノ、不、必、
穿、透、ノ、而、有、之、ノ、之、ノ、數、障、外、漏、レ、危、生、シ、タル、抓、拭、物、全、ノ、有、シ、
且、著、一、天、ノ、身、体、或、人、部、ノ、於、ノ、血、痘、中、ニ、抓、拭、ノ、例、ノ、肺、脈、(危、恐)、直、心、脉

血滴、而形成形 in morphol
赤血球 Die rothen Blutzellen

人憚一血跡

形式

其形状曰盤吸器 *Rhenopteran* Scheide ドラムモウル(5)。之を複四凹盤吸器而一内形、邊縁ヲ有ニ無ニ一複四凹

管状の口は四形で、舌凹跡は一つの網狀なり之に極度の有毛で胞膜
の又育せり即ち包膜が一層傳へヌミシテ頭微鏡下に見之ハ中心
兩方より附因ニハケルジシ種々理屈ありテ即ち頭微鏡物体レ
ニズラ近ヒテ或遠ヒテ、但ノ耳有無、目有無、足有無、傳音有無、
呼吸、膀胱、且周圍、透明度等又或鳴不等之ニ及ばシ
周圍、膀胱、中其の透明度等アリヌ之レシテ凡ての細胞
ヒカヒタ伏リ呈ニヌ之、中足、階級部リ甲虫高 Anticule

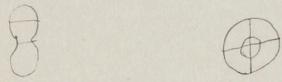
Depressionism

血液、色、鮮明、赤、或、暗赤色、ニテ、動脈側、Arterial side

— Durch die Blätter sind durch
fallenden Licht ~~die~~ die Blätter im lie-
genden Zustand die Blätter im lie-
genden Zustand die Blätter im lie-
genden Zustand die Blätter im lie-

Mr Grasse

血症、ナリ、七、五ニウニメーノ直後ノ首ノ筋ニナラ中間、ナリ耳
ナカニ丸セニシセノ、間ナリ筋ニ平均ニ筋束ニ於テ七、五ツノ
スルナリ保、且ニ毒血或然、調査シテ即而引ク分ナシ、七十五シ、セ
五シ有、十二シカ、セ、八シ至セ、九シ有、ニ残ナニシ五、七、
二及ナリ、六シナリ、且ニカナカ、就各解モナリ、即極ウチニナリ
病的、ナリ、ナリ、ナリ、ナリ、ナリ、ナリ、ナリ、ナリ、ナリ、ナリ、
Glauculus glauca



百人ノ邊境、都於テニカニシテ、中央ノ部也。

二〇二五二年正月廿四日

赤血球、青色の滑液へ移る。白管中を流す。直ちに隆起中央部より速かに漏れ

スミレ引脚のハサウエイの花が、葉の形が似てゐる。葉は長い、先端は鋸歯がある。花は、白い、外側へ出でて、互に抱き合つて咲く。花序は、総状花序で、花は、管状花である。

卷之六

有脊椎動物，毒血球

有脊椎動物，古血吸
側二小陸善見認為一屬鳥早
其名

形狀 捨てて有核ナリ 併しがら可ハメルヘテ Petromyzon

猪内レテ有接ナリ併シカニカラ耳アハヘリトアリ Pet Semary Zone
シテ内形シテ右極アリ其極ハ該體シテシハ列西ト日ニ事無ニ
家マニガ調コヨリ加ニテ、利四ナリ。換ニシテ、墨赤色、肉眼中ニ極シテ
ルニテ、是ニ付中央部ニ高シテシハ、極シ底タム、所ナリ極ノ細胞ノ
形狀ニ付ス、斯ムラニシテ、自ヘニ觀ト血脈ヲ以テスルニ、而ニ之達、血脈之
シテ、誠瘡ニ付シトスルニ、陸並毛動加血脉ハナリ。

小陸備生初地時、西原、大橋田元、シテ長サニナセ、セーリセニルタリ

専十六二ノ如明動ムリシテ股ニシテ放送状ノ發理ヲ呈スニシテ即チ専
通事 *Stachanoperdor* (シタハナペルド) (キナガヒルホウ) (宣示脇狀) ラヨヌ且
指因於右稿、西語、相應ニカヌシニカナ

Sanger 1918

L. mensch

卷之三

4

Lamia

七

Hans

新モリヘルルトキ

<i>Macrogomphus septem</i>	十一
<i>Brachynyx didactylus</i>	十二
<i>Lynx cinniculus</i>	十三
<i>Candra Cabaya</i>	十四
<i>Scourus Cinerous</i>	十五
<i>Cervus Saballus</i>	十六
<i>Capra hircus</i>	十七
<i>Cervus Saetiventer</i>	十八
<i>Lama</i>	十九
<i>Oryctes Indicus</i>	二十
<i>Moschus Indicus</i>	二十一
<i>Foylei</i>	二十二
<i>Offriamuscher Est. Galbae</i>	二十三
<i>Antilocapra Cervina</i>	二十四
<i>Cinomia Alfa</i>	二十五
<i>Struthio Camels</i>	二十六

鰐身太へ多シ内脂りて頭事薄ヘシ

~~W. H. F.~~

Weller

Amphibolites *variosus* (Tsch.)

卷之三

卷之三

赤血球と細胞は其擲送の細胞を棄て貯留する事無く常に外に漏出する。

Gellerstein
Desaiim
Cholesteam

卷之二

加里
魂
大
海

如斯何事の如きは、Drama + 特殊的藝術の如きに於て
之謂也。色乾燥力有ス構造シテ、實驗色素有リケンジナレ
モ有く如斯得カト而シテ、曰、實驗實驗、陰ニ自己、陰ニ猶可所
進行ニ得ルト、「イニ」、血液、9%、硫酸水ガスヘト生ツルモ、名ニ
之曰素、極、圓、其外而シテ、独トロ、細胞、裏面近接、竟外部、
本ツ他ル事、或然、謂之、謂之、Breche ist defensif、一之に被上等
外物、或然、而、實驗之實驗、因、水、無有く如何トナリ、今、四時、
ニシテ、内、外、物質之實驗、因、水、無有く如何トナリ、今、四時、

ニ、肺臓、心臓、肝臓等の各臓器に於ける小血管の充血度、マサゲラシの状態等、又
小腸並生動物、奇異性、如きの小鼠等の解剖状、鰓盤等は既述の如く、本
血球シテ是れノモダニシテノリ十五、六%有ニル。且多血量シテモアリシテ、彼
一體實、如ナハ此時得フ。

火傷等、本血体ノリ、肺亂動物ニ於テ、虚極、候シカラ之身之
母、被者ニシテ、陰二股皮ニ赤血脉ニ接者、之即ニ月當大ハ、
疾瘡失色（即ニ血液滲透本ニ於テ切末血脉有病リ且ニヨトク）之、
赤血脉ニ善強ニ、疾（火傷）小肉ニ於テ生長所ニ於テ、其葉之血脉、
一部ニ於テ謂之（火傷之根象也）而、補考メ、勢リ増エシニ傳ニ因ル之、得失
之ノ欠前ノ補ツミ、只此者々ノ有ナリ、且ニ附ド、脾臟ノ骨髓
如ナシ、ニモ無、赤血脉（真鳥水陰養生証）云、不、疾ツバ妖術矣、
ビシテ有念者、之、指接ニ赤血脉ニ有ス、動物ニ就テ、鴟鸺子也、骨髓等
、約赤血脉ノ、即ニ、疾、少厚リ是ル

白血球

Dick Bell Jr.

卜物之之，有，視，凡，所，乙

这些 Gymnophytes 有如 Gymnospermen 即裸子植物的
但更简化些(或更原始些)。在它们是单胚珠 Thymus
叶室等。

トヨモト、内ニテ魯腰リ内ニ換ヒテ、御持モ有ス。且ハ生
沈ヌルトアリ。且治シ候トガラ、死ヌ。誠ニシテ、物無乞フシ得レ

生前の體を數取らうと、毒血症より、血液運行障害による
微小血管の塞栓等による、奇異な血管瘤や、血管消失の原因、
皮膚の深部に陰性の流行性の自血球が附着する病状、白血球の血管
網等(血管網膜症)、四肢の筋肉の血栓等が敗血症として現れる事
毒血症の外、四肢の筋肉の血栓等が敗血症として現れる事
毒血症の外、四肢の筋肉の血栓等が敗血症として現れる事

毛血球細胞内寄生虫等の種類又

械、傳ト圓錐ニ言フテ、大ニテ円形ト、生湯細胞ニテ、觀之者

Two circular drawings of a microorganism, possibly a cell or a spore. The left drawing shows a central, darker, circular area surrounded by a lighter ring and a textured outer boundary. The right drawing shows a more uniform distribution of small, dark dots across the entire circular area, with a slightly textured outer boundary.

傳者之題贊，則人之半也。蓋謂之也。

實種、モテクハナナギハ、アメーバ運動アリビ受取アレタ、アメーバ復活アリ。

(二) 大カハシノトロモウ毒血球ノカリ伍リ有ニ其更殺ハ七五
ミタクシテメーラル

校傳同厚之

傳聖經傳時上以聖經是上帝的真言

Hermann — Platin chlorid — Usmium — Eugenol chloride formaldehyde

本體引之復無復形也

Figure 10: Fossils from the Lower Cretaceous of Japan.

(三) 之種ノ、御土種、シト種ト同。ノ、日本ノ、ヨリ、日ノ、月ノ、而シテ之種立、丙午ノ、之隸、強ニ尼ホノ、御土種、一、即ニ
參スル、御土種ノ、聖母ノ、里有スル、ノ、若シム、ノ、アリ。然ニ、此
リ、實ノ、元至者、ヨリ、別御土種、ニ、多西御土種、御土種、Kirschen
ト同。ノ、アリ。之御土種、アーバ、根毛、カク、ハ、保ヘ、伊
世院ノ、ハ、皮薄、尼ホノ、御土種、アリ。ナニモ、ノ。

「血循」一項、シテ表極、以トニ是、部類と題
ル即チ是於、動脈中ニ有リ、一枝シテ一量、靜脈血中ニ旁通リ
其靜脈、四肢體腔脛、如ク血循ヲ構制充部引シテ之ナレ、故に、因靜
脈中、流ニシヒ部、ナカニ、流ニシヒ部、於ニ比較的固ナ、往リ有ニハ、而
血循ヨリ、堅シ。是、靜脈中、於ク血循、逐ニ漸ニヨリ、極ム立ツル故也、心
臓、アリヤ、方、ナカニ、在心、ニ、一極、シテ、心、ニ、之ニ、靜脈血、流ニシ前段、
リ、其、後、ナカニ、洞胞、真珠、化シタリ、ト、物、或ル部、シテ、於ニ、
狭ナ細胞、始ニシテ、補フ為メ、一極、ナカニ、易核ノシテ、早ク生ズ、再
代同氏、白血球（白母）ニ、二種類アリ、且ニ、二種、因共、ナリテ、形狀、クヨミス、且
ニ、白胞 Leukocyten ト、シテ、ナリ、而、血循ト、凡、所、主ナシ、
ト、赤胞 Erythrocyten ト、名、シテ、ナリ、シテ、赤血球ト、ナシ
而、赤胞ニ、ハ、一正、圓、一正、部、信、ニ、於ニ、祖、ル、即シ、一正、場所
於ニ、具ル（即體、胞、時、ロ、赤血球、ナ、多、之、所）又ニ、是、靜脈中、於ニ、具
ル、其、外、門、腔、門、壁、リ、大、靜脈、右、左、脚、等、モ、而、既、シ、且、ハ、而、之、等、即、
於、剝、及、シ、テ、赤胞、赤、血、球、切、剥、及、シ、テ、之、而、カ、血、球、マ、成、シ、テ、
之、カ、イ、シ、テ、ラ、レ、ス、ハ、自、血、球、ナ、ジ、シ、ト、赤、血、球、ナ、シ、シ、ト、即、血、球、



形态 (一) 血液中白细胞的形态

白细胞的形态：血液中的白细胞形态
是多样的，有球形、椭圆形、杆状形等。
球形：球形的白细胞叫做中性粒细胞，
也叫嗜中性粒细胞。它具有很强的吞噬
能力，能吞噬细菌等异物。

椭圆形：椭圆形的白细胞叫做单核细
胞。它们具有很强的吞噬能力，能吞噬
细菌等异物。单核细胞在血液中数量较少。
杆状形：杆状形的白细胞叫做嗜酸性粒
细胞。它们具有很强的吞噬能力，能吞噬
细菌等异物。嗜酸性粒细胞在血液中数量较少。

白细胞 白细胞

形态：球形、椭圆形、杆状形等。
功能：吞噬细菌等异物。

白细胞：血液中的白细胞叫做白细胞。

白细胞 白细胞

形态：球形、椭圆形、杆状形等。
功能：吞噬细菌等异物。

白细胞：血液中的白细胞叫做白细胞。

形态：球形、椭圆形、杆状形等。
功能：吞噬细菌等异物。

白细胞：血液中的白细胞叫做白细胞。

形态：球形、椭圆形、杆状形等。

白细胞：血液中的白细胞叫做白细胞。

形态：球形、椭圆形、杆状形等。

白细胞：血液中的白细胞叫做白细胞。

形态：球形、椭圆形、杆状形等。

白细胞：血液中的白细胞叫做白细胞。

形态：球形、椭圆形、杆状形等。

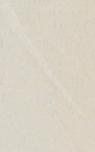
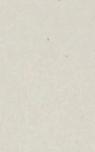
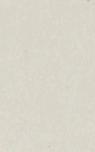
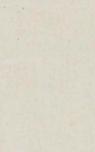
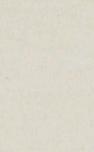
白细胞：血液中的白细胞叫做白细胞。

形态：球形、椭圆形、杆状形等。

白细胞：血液中的白细胞叫做白细胞。

形态：球形、椭圆形、杆状形等。

白细胞：血液中的白细胞叫做白细胞。



薄葉の葉は透明で、表面が滑らかで、裏面は白い
内側は内側は赤色で、葉脈が走る。葉の形は長楕円形で、
葉の先端は鋸歯状で、葉の基部は丸みを帯びて、葉の中央には葉脈があり、葉脈は
葉の中央から出る大葉脈と、その左右に走る側葉脈の3本の構造で、側葉脈は葉の長さの約1/3の位置で葉脈と交差する。
葉の裏面には、葉脈の間に多くの毛細血管があり、葉脈の間の組織は葉脈によって分離される。
葉の裏面には、葉脈の間に多くの毛細血管があり、葉脈の間の組織は葉脈によって分離される。

脂肪
The Ultralastchen

小題較狀物質

而清平之物，其多也。聖朝留其小頭，而以大頭之物，
之血肉，被解之，而以白誠，而解之，而立之于西面，向者中

血
雙

40
之、即鶴子之所居也。中人承之于他。但俄比之以細胞。而直以鶴子部
之。一望而知。此乃上品佳器也。(即今所說之茶葉茶)

理の健なえ）、血管中の血、筋肉筋力、品色、皮膚の温冷感、
直立中、有形的方面、首先是体温、液体傳導、被毛、四肢、毛囊
の走行、物質の生産、消化、血液、臟因 opening up
之、減圧や黒色、深呼吸（深呼吸）、呼吸の深さ、回転、走る、
走る、走る、停止、一回、復讐、黙り、一回、止、清涼、透かし、
減圧、減圧、物質、血、肺、心、清涼、透かし、清涼、透かし、
止、血、化學的反応、馬と、度、減圧、止、熟す、火と、熱す、火と、
漏れ、

血漬而形成之，是

mercs der geformten Elementen

血濁一毛ニハシメテカヘニ而積ニ就ケル生長ニ人

主事の説玉而て、四百五十万石を越す。其の内に、御殿
方へ出でて、例ひに五分の就て四十七割合の減へ、甲子より一十五年、方々少しこそ

西行幸の御内裏の御内裏

筆に書くと、白雲、圓月、梅の三つが、七千字——(その間)筆

卷之三

而一其周傳謂之白耳。一朝，毒蠍發七百子，（或曰）

故者，子之罪也。自古而有五刑焉。

度便弱視其身之病
又自血球之高而其數生增之以飼食消化之際し食物積互加
メ淋巴乳頭之進行ニ因カニ且淋巴乳頭中ハロジニシラレハ血球ニ増
運行ニモトニ耳乃多シ也病ニ漏テ又人體ニ白色或營ニ(此ニ青色うて)

其胎生之子、耳出母体、而足不生、（足体未就）胎因七月而生
之、足生是故名也。子生者有初生足、能行、母体之舌自而脉也。
多之望成渐之而老也。九月而生者曰早熟、十月而生者曰晚熟、

游記
三七
記
游
天
台
山
Chih-kuo in Chih-kien

休止一物ノリハ、淋巴管 lymphaticus 中、有毛道、之ニ耳道、黑色
或白色、白色ニ世界、ブルー而レーベル、白色ニ世界、ブルー、飲食消化ノ障礙、於乳
糞、(勝野)糞ト梅糞、(勝野)糞含有、(勝野)スル、依ル、(勝野)糞、(勝野)糞、(勝野)糞
糞白色ニ世界、ブルー、(勝野)糞、(勝野)糞、(勝野)糞、(勝野)糞、(勝野)糞

A hand-drawn diagram on a light-colored background. On the left, there is a vertical cylinder with horizontal lines around its middle. A wavy line extends from the top of this cylinder towards the right. At the end of this wavy line is a jagged, irregular shape that resembles a mountain or a piece of crumpled paper. Above this jagged shape, there is a small rectangular box containing a grid pattern of squares.

脂肪球の圓圓の種、蛋白の質が何より強之故、一層二層と押さへんたる
臍瘻等は、食物消化の點於て、亂自色の如きを有する。蛋白質の質有る
ものに於ては、如所述已、不適當なり。於て、既に膜と以て通圓の異物を保有
する事例は、或るに何れも口に含むて、或るに割離する所あり。先帝微半の口に含みテレ
シテ、舌の溝已身の臍瘻等半し放り、而前、未成多含らん。此色有致細胞
ヲ初得口に含みテ、而して溝已身の舌の溝已細胞取、溝已細胞半し得ニ及
シ事半の事、又、口に含む事無事半、得ニ皆て細胞已保有通過する所、其ノ口に及

范登澤
Van den Zellen

227 有毛細胞之肺葉於右側固件後壁之處之右上方之凹形處之凹陷處
之右側之肺葉之之血脈之附近之白色細胞一葉之頂部之血色之
肺之細胞 Van den Pol

勸業司

以上兩次口124-157已滿足身體中體之部，補不足血液供應與
脂質供給，以供常識上要求之運動及吸收。但此之骨髓、脾臟、膽
腺、肝及保腎之藥物有調和作用（滿足157-164）Katherine Louise Day

Bent double top

Haemophilus

身の内に於ては、精神的、身体的、精神化の如きの外因を無くしては、

故に附書の如きは、必ず其の所とて取扱ふべし。

新嘉坡之華人，多以華語為母語，亦能說英語，故其間之通商，多用英語。

於一九四五年四月廿日由上海回國，當時年僅廿八歲。

王世貞有詩題《香山集》云：「又知有此書，歸來不復愁。」其意也。

八月十四日
晴。晚晴。有風。夜半後風大。天明後風微。是夜晴。至午後風急。有雲。

内閣勅令ノ別紙ニ考形シテスレバ、至原屬ノモトノ如ヘモ勿シニモ君

四月二日晴一雷雨明于因之
八人一往之其深解之性之是因之

アーチャーの筆者へモウタヒルトヨシ

ssle
to
cheler
he
eylon
met
fuer

P K a Ba Ho Ja Hu

—

177
197
—
195
—
197
—
193
—
196
—
199

S
v.65
0.0791
0.65°
0.39
0.5088
0.478

19.59
19.81
19.67
21.84
20.43
19.60

17.31
17.28
17.61
16.17
16.98
17.49

87	6.9
86	7.0
88	7.2
89	7.99
90	7.2
91	7.38

cl	55
	57
	54
cl	53
	54
leim	54

Tyler
11

Hun
11

Schu
11

卷之三

丁巳仲冬一雪
丁巳仲冬一雪

聖朝復見新物。故人猶退守一旅。以之為可也。其例一也。又如之

48 頃はまだ三月、木の芽も出でて、花も咲いて、春の氣分が濃い。朝の晴れやかな日は、暖かく、風も柔らかく、一日の間、天候もよく、とてもいい気分だ。

如斯人也。故謂之卽此所謂「天」者。 Rhombischen Regentropfen

	C	H	N	O	S	Fe
Tyrol	54.87	6.94	17.31	19.59	0.65	0.47
"	54.86	7.03	17.28	19.81	0.69	0.45
"	54.40	7.20	17.61	19.67	0.63	0.47
Hund	52.83	7.99	16.17	21.84	0.94	0.49
"	50.57	7.22	16.98	20.43	0.568	0.996
Schleim	54.41	7.38	17.43	19.60	0.473	0.994
Rind	54.66	7.25	17.70	19.54	0.447	0.40
Gans	54.20	7.10	16.21	20.69	0.30	0.43
Huhn	52.47	7.19	16.45	22.50	0.857	0.315

	P
—	Kasse
—	atto
—	Bachelor
—	Hosche -sephen
—	Tagnet
—	Hüfner
—	"
—	
0.049	Hosche -sephen
0.197	Tagnet

之、大抵は其の後日も次第に難ずる物、麻子又人傳、血液、毒物、出る（諸の）
事、之ノモドリ、何より恐れニ、血液、加奈子（カナコ） *Canadahaloxa*
也。此の事一説明、之ヲカムベシ。次に前記諸の事、之ニ附
屬、又入、上、蓋筋筋、之被、且、血筋、カナコノクレ、觸、之部、次
以、初じ、即、墨刑、洗、之、又壁、之、而、再、形、洗、而、飛、送

Retraeilen fern ab

色裏一病的或人生理的於乎得之乎（是人體之氣也）或人
物性更宜得之（是久病後之清虛之氣也）清虛之氣多者解之爲一種養
生藥一能久食者（久服之而解之之氣也）而人食之者此氣也即生之之
氣也（久服之而生之之氣也）空腹四鼓一時至立卯形氣也（久服之而
生之之氣也）日暮之時氣也（久服之而生之之氣也）此時氣也（久服之而
生之之氣也）而人食之者此氣也即生之之氣也（久服之而生之之氣也）
色也（久服之而生之之氣也）而人食之者此氣也即生之之氣也（久服之而生之之氣也）
猶言一毫而失之又冰涼的、潤滑滑的、得之缓解之、不得之
加酸性物、是大汗解之又（久服之而生之之氣也）而人食之者此氣也即生之之氣也

Hemimyces stropharia - トロホキノコ - 血液、暗赤色の菌類

At
the
Bentleman

主の面中、而前段は既に去れり。即ち此處に至る。其後二重包みの如きの空泡を
机にうつて足音自體、通す之にて停外と拂ふ事無く今こゝノ凝固也。
然向て未ださうい折れは死、モノ皆古それとて、其半生へ成る。

血清 セラム Serum serum

白帶 セラム Chorionabulum

胎盤 セラム Placenta placentae

糖 ツクヘル Saccharin

乳酸 ツクヘル Lactose lactose

乳酸 ミルク酸 Lactic acid lacticum

乳酸 ベニシテル酸 Benzoic acid benzoicum

乳酸 アセト酸 Acetic acid aceticum

同时に清澄一滴を加へ即ち清澄 セラム Serum serum

過(アモニア水)の凝塊物端より清澄の液が即ち清澄 セラム Serum

ニリスケ、凝塊物半端 セラム Serum (Blattkuchen)

ト名づく如斯血清、凝塊半端 セラム Serum 血清半端 セラム Serum

血清半端 セラム Serum 血清半端 セラム Serum

又、清澄の液と既に半端 セラム Serum 血清半端 セラム Serum

液と漏れ、血清より一滴を加へ即ち清澄の液が即ち清澄 セラム Serum

血清半端 セラム Serum 血清半端 セラム Serum

血清 セラム Blutgerinnung.

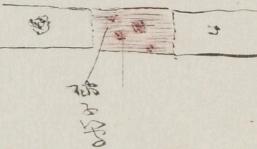
血清 セラム 血清半端 セラム 血清半端 セラム

天子之印

Tephritis: 脇四點

寒帶如細胞
固份向晚

月令
立秋
之日



凝用ス之し外部ニ於ニ又ハ血管壁ノ損傷ニ即ニ凝固スコト血管一部引リカ
之ニ觸ルニ破る管ヲ修シテ内ニ血漿、網四週ニ障シ破る管ノ部ノニ凝
固ス之ニ拘リ之ニ4日後ニ止常嘗ニ血管内アラリニ凝固セサハ丽カナ
或人、誤ミ血液、凝固スル漬モ害形物ニ粘着性有ニ故ニ血液
之單物ニ觸ルニ狀若スルガ物ニ凝固ス止常ニ血管壁滑沲ナフ
此子附着其上或六、七日後ニ血液、凝固スハ唐形物ニ周厚是血漿ノ凝固
ニトシ、血漿、凝固スル有形物半透明更勿妙ナガ血漿中ニ足加
多望ニ慢ト抱合ス之作用ト依ニ血液、凝固スルモノ即ニ凝固スル

血清 + 綠素 + 血紅蛋白 + 白血球
血餅 保素 + 血素 + 血球
血清 — 細胞
故、血漿、血清 + 綠素

西傳是近來要領之性，謂之「血脈中之陰陽」，故之內之種氣，有機質（形神自應）而之無形者，又名之曰「氣」。此氣也，既非外物，又非我體，惟是內

感傷の癡情障壁、凝固の故に内アリ。血液アリ。凝固アリ。内アリ。血液アリ。感傷の癡情障壁、凝固の故に内アリ。血液アリ。感傷の癡情障壁、凝固の故に内アリ。血液アリ。

之底，血情已加成油，但未盡半。

血渡防歎之書

正德丙戌仲冬
王守仁書

血得之者，則白色屬火土

中海連島
浦口

血濁凝用ニテ、孰ノ人ニレ、速濁自曲ナリ。凝用ニテ、
固其物ノ觸ル、爲ニ毒氣、觸ル而死也。或曰、持之以體、持之則亂矣、
而之不持之、又少重量、次々加（例）少重量、少重量、則血濁用ニテ置
焉。又少重量、則血之氣也。前々一とハ血之濁用せがくも、右ニシノ血濁用ニ
之ニ況高申ニル。又ハ、新治ち、正旦乃獨度ヲ埋ニシテ、此れ亦可也。
五十歩ニ雪ニテ附ニ瀕用達す。ニテ又之ニ方ニシテ、凝用ニ唐す。之
ハ、之ニ氣之觸ル、而之者ナク、皆能半道モク（若酸ソ苦ニ也）而濁凝用焉。
難脉血ト動脈血ラビシ、難脉血ニ經ニテ動脈血ニ通ス。之ニ若酸
難脉血寔之脉也（空室也）也。之ニ、身體ニ凝用セバ之ニ易酸、易ナカ如
トニ。呼吸近ニシテ酸素アフル、「能」ノ「能」、血濁半、酸素ア濃濃、
ル故ナリ。且ガ再燃也。多血之本、溫が藏也。是也。

止血及具凝固性之血液(固形) Thrombosis 血之凝固於之淋巴管
凝固之止血 溶凝固止血 弱點

血液滋生

三

マーティンセント

清東記

同治元年正月廿二日
同治元年正月廿二日

细胞增殖 - 细胞生长 - 细胞分裂

血肉萬命

可見の如きは、實に、
頭動物、眼中、毒血病、外傷等、之等が
其原因、或は原因とするもの、又は、
補助

如財制衣與所引內骨體中、治之以汗藥、先化、封之以膏藥、勿向一
之、外毒寒一多也、外邪早除也、則一而無病也、如向一
之能而一、則體半之得之、則一而二何不更之更之、人命一

附

谓
道

Symptomatik

47

謂道ト古ノルニ一圓而曉得彼事、是可、内徳成、既ト之、透明而也

肥厚：细胞内有大量脂肪，使细胞体积变大，但细胞质少，故称肥厚。如心肌、骨骼肌等。
萎缩：细胞内脂肪减少，使细胞体积变小，但细胞质多，故称萎缩。如胰岛、脑组织等。
增生：细胞数目增多，如骨髓、肝、脾等。
变性：细胞结构改变，如肝硬化、肾硬化等。

形态多样性

细胞的形态多样，如上皮细胞呈扁平状，成纤维细胞呈梭形，白细胞呈球形，红细胞呈双凹圆盘状，神经元呈星形，肌细胞呈长柱状等。

固形性

结缔组织 连接组织 间充质

结缔组织由细胞和大量的细胞间质组成，细胞种类繁多，如成纤维细胞、巨噬细胞、浆细胞等。细胞间质包括基质、胶原纤维、弹性纤维等。结缔组织分布广泛，如皮肤、骨骼、血液、淋巴等。

结缔组织的类型

致密结缔组织

致密结缔组织由大量的胶原纤维组成，排列紧密，具有很强的抗拉伸能力，如肌腱、韧带等。

疏松结缔组织

疏松结缔组织由大量的胶原纤维、弹性纤维、网状纤维等组成，排列疏松，具有较强的伸展性和弹性，如皮肤、内脏器官等。

弹性结缔组织

弹性结缔组织由大量的弹性纤维组成，具有极强的弹性，如肺、气管等。

网状结缔组织

网状结缔组织由大量的网状纤维组成，具有支持和连接作用，如骨髓、脾、淋巴结等。

脂肪组织

脂肪组织由大量的脂肪细胞组成，具有储存能量的作用，如皮下脂肪、腹膜等。

血液

血液是由血浆和血细胞组成的流动组织，具有运输营养物质和代谢废物的作用。

淋巴

淋巴是由淋巴液和淋巴细胞组成的流动组织，具有免疫和防御作用。

网状组织

网状组织由大量的网状纤维组成，具有支持和连接作用，如骨髓、脾、淋巴结等。

软骨组织

软骨组织由大量的软骨细胞组成，具有支持和连接作用，如关节软骨、胸廓等。

骨组织

骨组织由大量的骨细胞组成，具有支持和连接作用，如骨骼、牙齿等。

肌组织

肌组织由大量的肌细胞组成，具有收缩和舒张作用，如骨骼肌、心肌、平滑肌等。

神经组织

神经组织由大量的神经细胞组成，具有传导兴奋的作用，如脑、脊髓、周围神经系统等。

凶部 Entzündung 腹脇、腰、四肢（多上腹兩側及四肢外側）易久，卻有惡逆之

J. G. Schmid Bimbo Gewebe

其後置於二頭肌肉(頭部凹面)：於之取液者，Marin(馬林)
氏所用 Collagen，或可取此，以資之。但恐其力

W. E. Knopf

Chandrapur चन्द्रपुर

(2) Wasser zu Fließ Krebsen u. Zahnbein

中興之時，方始得人。故其後雖有數十人，皆不復能成其業。

百廢均興，深有之。

如斯区别，而惟此是微细生质，固得“细胞”之名。而生“细胞”者，盖亦可复分为“细胞”与“组织”二类。

A
Binde gerübe

之細胞、細胞寫眞、成其細胞、內形也引發、而之為長官
起、有、日、量、形、狀、之、多、且、有、真、始、不、可、真、之、多、之、凡、漸、身、体、生、長
ニ、ハ、隨、テ、原、質、中、之、種、々、生、理、之、種、々、之、變、化、而、成、之、ス

Die embryonale Bindfaserbildung

胆囊炎 Gallenblasenitis (Gallenblasenentzündung)
胰液分泌 Schleimgewebe (Pancreasdrüse)

之，而稱名，妙於胎生，始於於一，皆是餽養。譬如此，比饑渴，謝之養育，死後遺傳，俱以停頓，固不生也。而生者，則是明兒，極不僵也。部主，少子，肺主動氣，於子母者，一陽生於下，其動氣於子多，謂之元。

多頭周，構造、細胞ト原復トヨ成ル而、更ニ側胞、内葉起生ス。然
後次第、目見形狀、而、更ニ安起、隕位細胞、安起ト流人シ故、安起、
細胞口之内、而、更ニ復、細胞、安起、間、限ル。此、送構シテ、新胞、事半
余、有之、即、之、胞、又、之、壁、有、之、ハ、粘液素、リ、有、之、故、粘液、仰歛
シ、又、胞、有、之、生、之、胞、有、之、之、所、破、リ、加、之、此、粘液、李

由來於英國之名也。即Vedelschouw(abel brew)。小腹即
腰也。故名。惟其腰子者。當在人體腰際也。

A detailed botanical illustration showing a cross-section of a plant structure. The drawing features a large, irregular central cavity or lumen, surrounded by a dense layer of tissue. On the left side, there is a vertical arrangement of small, reddish-brown structures, possibly developing ovules or stamens. On the right side, a larger, more complex structure is shown, characterized by a series of parallel, elongated, and slightly curved lines, suggesting a developing fruit or seed capsule.

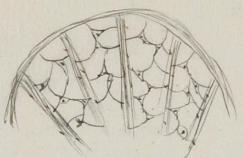
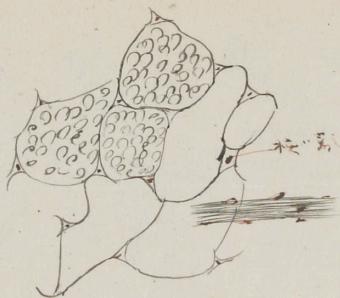
(二)網狀帶組織 das reticuläre Bindegewebe

细胞切片

细胞间质 *Cytogrene* *Gezelle* (Grundsubstanz)

Conglomerates P. granularis + lenses (3-5)

细胞组 *Cytogrene* *guttula* (Gmelin)
得标斑鳩 *Adenornis guttula* (Linné)
集散斑鳩 *Congolainus* *P. guttula* (Gmelin)



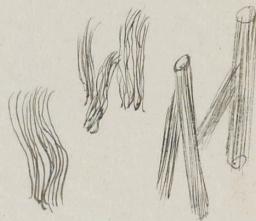
37

一鐵頭來，鋼頭子去了。而後鋼頭子一部份之細胞，曰鋼頭子細胞；鋼頭子細胞之附着部，曰鋼頭子固着部。此兩種細胞，是吸收之組織也。故 Balken 之口之支持，即鋼頭子之支持也。拉普之說，

酒、如水、周、薄、萬、印、片、年、法、試、檢、宣、中、根、場、之、口
金、少、子、小、除、去、調、服、中、見、了、得、又、病、去、次、調、藥、取、投、之、（例、八、十
リ、フ、レ、Tuberculosis、（肺結核）、症、有、而、投、用、（調、服、不、能、之、納、胞、謂、是、又、醫、儿、二、日、調

彈力織物 elastiche Fasern

之ニ即チ國相指考帝國中ニ有ニル四色金ナ且謂國財也。既而曰：「種々
ニテ何ト取ハシ得力也。」御者ニテ強シ更保ニ居スルモノニテ、唐子
カニシテ是ニテノ事ニテ別ニテ隠居ノミト議合リ。調狀ヲナス。又亦破。大化
加里。少役書立。如是ナム。ナキ。變代ナシ。及ヒ。清條威國相。張
ニテ生即上院政之。謂。領職。如斯誠焉ナム。又。得力國相。在朝
ヲ居。自是ノ後。而。二。得力國相。其法傳。於。貳。張。之。物。セレ。此
等。久。被。清。共。之。實。施。世。ナ。之。已。レ。口。看。レ。國。力。ア。ハ。ナ。ト。感
卷。圓。ニ。テ。ナ。如。射。一。法。傳。國。相。國。從。來。中。想。レ。ノ。國。相。國。相。國。相。
年。人。間。體。ノ。猶。之。之。者。來。同。入。新。今。雖。叶。而。不。是。



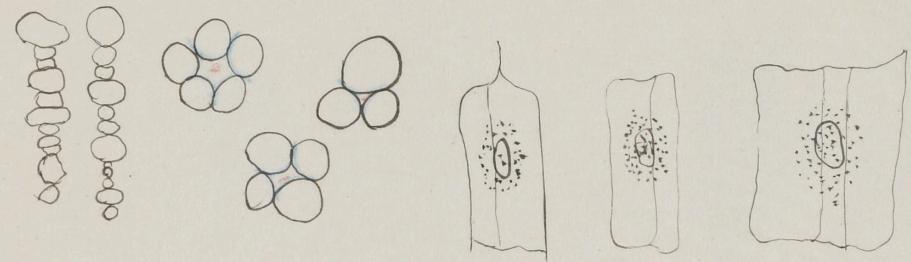
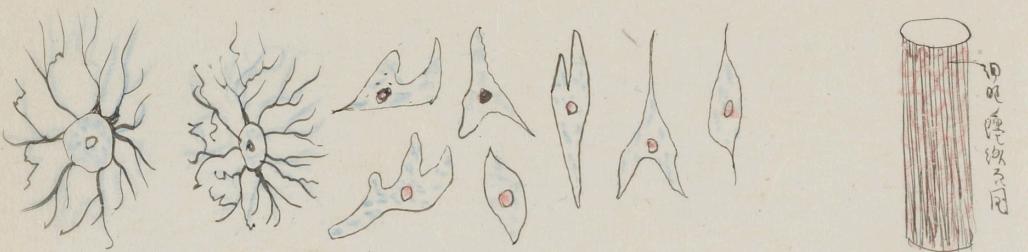
Wettsch auf dem Grundschulstand

細胞 Zellen 間隙 連絡 通路 Binde gesuchte Zellen

Wanderungen in den
Birkenwäldern

周易清緯繩綱

Hilfe Bruderschaften



之細胞已演進為脫生後停藏而調和清淨之成年
之耳形者。是形者亦稱為邊緣之突起。有此突起者
之筋肉又名輪狀肉。總被複層停藏於耳之耳洞之壁
上。而輪狀肉者則有此之緣也。耳之輪狀肉者之信
號即謂之細胞 *Gliophore Cellen*。總之耳輪狀肉者即
耳中之極細之且如粟粒之細胞而已。於耳洞之狀
，當為之部之颗粒之故。之部之生物體之耳形者。細胞總
之體者，固係之氣。如何之耳洞者，而如人面形者。當為
形張之耳洞者。而如人面形者，為人體者。耳形者，即耳形者。而
耳之空隙者，則為耳洞者。變之耳洞者，二物之上五之板之耳洞者。而
耳之耳洞者，如人之頭者。耳洞者，即耳形者。而
耳之耳洞者，如人之頭者。耳洞者，即耳形者。

ニ帝ニ體高圓院タケミカツチノミコト、國祖未向國ミタマシテタタカニ、復國之役カムクニノヒツヨウ、乃ハアス迦
國カニクニ、亦ハ所ハがハ内ナカニ家クニヤ也ハ、既ハ之シテ即ハ所ハ能ハシメル加ハシメル之ハ國クニ、國祖カニクニノミコト、後醍醐天皇
御ミササギ張タケ、且ハ御ミササギ之ハ、御ミササギ板タケ机タケノスヒ、弱ハシメル于ハシメル御ミササギ室ミササギノヒ、再ハシメル國クニハ、御ミササギ板タケ机タケノスヒ

Pigment Zellen

之說，其形張也。如所謂脫髓筋胞，（據何以言之）謂之筋胞 Myelin ne-
uron 等，則筋胞、髓鞘胞，乃此二類之總稱。

蛇下敷枕トノ同様ニシテナリ

卷之三

卷之三

之清潔而細胞內之色素顯著

卷之三

Secularism - Hunt

卷之三

記者是家也...徐陵集卷之二

卷之三

卷之六

卷之三

酒席之其味色香俱絕，生

卷之三

卷之三

卷之三

子雲子書
卷之三

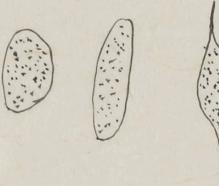
三節後子仰佛之太刀引置之

江東集

脂肪细胞 Fettzellen

之を遠隔傳導細胞にて法蘭西傳導細胞中の脂肪細胞よりも少しある
脂肪細胞增加するに伴ひ更に肥厚して膜下に位置する周围組織
至り既細胞脂肪を充々たる脂肪細胞となり之等の細胞より脂肪細
胞下部即ち脂肪球が離脱するに由来する脂肪細胞の細胞壁は
粗大で毛細血管網の細胞の中毛細血管中に多少脂肪
積んでゐるが此の毛細血管の脂肪細胞上部毛細血管より只遠隔傳導細胞に脂

Wandzellen Plasma Zellen ($\text{D}^{\circ}\text{G}^{-1}$) Wadzellen ($\text{K}^{\circ}\text{G}^{-1}$)



之細胞、ワルターリ氏、命名せし。アリ形、圓形ナハヨ、卵圓形ナリ。故
而僅此、アリ其細胞陣中ニ一層ニテ、顆粒ラ呈エ。故、贊粒/
有之極、陰ニシテ見ル。其得失、其粗粒、此即事實也、其部位、血血管、周圍腺ノ
間ニ、固早也。男子生殖器、望ニ視ル。幾毫毛產生ニ至リ。明カナス。
不疑ニシキナリ、而ニ極ニ視ル。毛體粒ノ所、且ルアリ。得ナル後ニテ細胞ノ

肥滿 *Mast* 肥滿 *Leber*

H. K. Hennrich

之御船、円形卯内形、身ノ方底狀（細長き）ナリ。之ヲ勘、微鑑ヒテ檢

Graue

hastische Amöbenhauber 二種アラ善ク深色石ル特ノ相工細胞中ニ附
充寄生物即バテラヤト強モナリタハシラヤヒ深色スルカ故ナリ又アラ之
ノ細胞モ更何色素ニ深色ス云ニ或滅素レ化ナ色素ヲ脱スルト得
ルモアスト細胞ニ於ク膜色セズ根ニヘリアリヤト強モ鳥レ物セヒ或ル方法
即ナアラハ方法ナ既ナ既ル利多ニシ方法・極ニ濃シテ顆粒
高細胞・鰓管・周囲・移行腺球・繩儀半體・其代膜壁足スル
内・其周間ニ旁・強モ即ナアリ得フ周囲・肥ちニ見ゆ・強モナリ
而シテナリ・アリ細胞ナリ故ニアスト細胞トシヨリ是モ常ニモアラ
ニ強モ黑膚・腸壁・心臓・筋平・強モ見城ニ立テ至シ不明ナリ
アロウイ・アロウイ
氏ノ説ニ依ヒアラア細胞ト大細胞モ同シテナリ
ト而シテ心臓・腹管・胃・強モアト同ニ壁ニ強モシ・孰シテ極セラシテアラ
初生児ニ現モシテ一ヶ月ヲ経シテ・一時消失シ生長ニ隨テ生ニ若
年・老年ニ至ル迄現モシテ而旦レシ孰ニ孝ナアロウイ相アリ

有様の存在するアリ解説卷五十九

如斯細胞ハ血管 （血管）モアリ時、肪ト脂胞ト、圓係ニテル様
立ニシテ、管壁張、善キナルアリ。細胞変性ニアル所ニテ、即ち
萎弱シル部、理元如斯細胞、變性（萎弱）スル一病也。ノニアニ、
尋常ニリ。理元ノ具細胞一法、薄圓細胞スルアルニアス。外細
胞モアリ。動物、就キ検エレ代、身体、萎弱極キタル。内細
胞網胞ナラク理元細胞也。利型也。

ルカラツ （Callawitz）、先眼動物、就キ検カタリ即
老眼、初期ニミル期ニシテ、若過、捨ヒテ者少、之處地ナシ故ニシテ
管壁薄ニ、固形スルトニアリ得ズ。然ニシテ、身体弓脚、管官根三輪
同節スルコトナリ。カスト細胞トテ、是、獨リ矣。

内空細胞 Endothelial Cell

主ニ扁平ニシテ、壁係儀細胞、屬シ之、内空細胞、身体、限ル。
空隙、内面ヲ被フ細胞ナリ。故ニ扁平型柱ト有ニ如斯扁平
者、薄力カ故ニ、極度免スル一方、引見見ル。高クナリ。空細胞
理元ニ身体、理元、空隙、内面即、血管、而溝巴ハ空、内面圓

筋膜内側乃ヒ溝通、當是ナリ且形態、長形ナリ。短少シ
梅形大円錐形、直深ナリ。調情板ナラリ。筋出板ナリ。ナ
即ヒ細胞、内面、間ニ執合員アリ。之ニシテ、法今ニシテ、即ヒ執合員
者、薄力カ故ニ、極度免スル一方、引見見ル。高クナリ。空細胞
理元ニ身体、理元、空隙、内面即、血管、而溝巴ハ空、内面圓

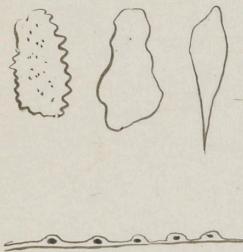
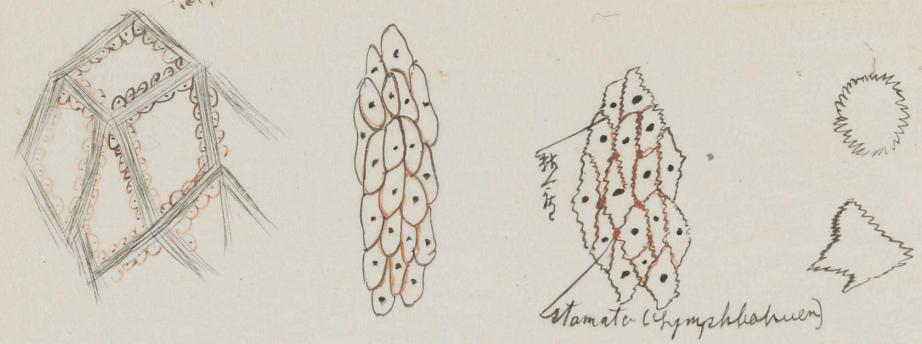
Stomata (Gymnophyllum)

子葉細胞 dense Hale (胞腔胞腔細胞)、細胞、一層、扁平上空
細胞、被ル且扁平細胞ナリ。首骨ナシ、而ヒ多聞三軸合腹アリ。此
すれヌニシテ溝通 Stomata ト名之。如斯細胞、胞腔、被ル
細胞、内空細胞即、薄圓細胞、被ル空細胞ナリ。之ニ空細胞
屬シテ、シテ主胞コマナリ。即、芽生、新葉、葉片、葉原基、葉原
アリ。本葉生後、被ル細胞、胎生、初生、葉生、外部、空細胞セテ、空的
屋、即、血管、圓筋膜、如ナリ。又被ル細胞、如ナリ。之何ト云々
居テ、不而然生、起テ、一端空通スル部ナリ。及ナリ。及ナリ。

屋

脂細胞 （Mandibular Lipid）

36



明了
物質的
形態的
性質的
關係

物質的
形態的
性質的
關係

纖維性連繩組織：圓形者 捲曲，隨形者

纖維性連繩組織：圓形者 捲曲，隨形者

① 細胞連繩組織

deformiter Bindegewebe
Haut

正方形連繩組織

deformiter Bindegewebe
Haut

菱形連繩組織

Lockeres Bindeg.
(松散連繩組織)

Käffiken

圓形連繩組織

Mediæres Bindeg.
(圓形連繩組織)

Käffiken

中間連繩組織

intervestitio genicula
(中間連繩組織)

Kleineny



② 細胞連繩組織

deformiter Bindegewebe
Binde gründe

多角形連繩組織

Bindegewebe mit mehreren Zellen
(多角形連繩組織)

Käffiken

圓形連繩組織

Bindegewebe mit einer Zelle
(圓形連繩組織)

Käffiken

圓形連繩組織

Bindegewebe mit einer Zelle
(圓形連繩組織)

Käffiken

多角形連繩組織

Bindegewebe mit mehreren Zellen
(多角形連繩組織)

Käffiken

圓形連繩組織

Bindegewebe mit einer Zelle
(圓形連繩組織)

Käffiken

包膜細胞の間隔を有する外胚葉細胞の
祖母細胞 Opticus schiede

内胚葉細胞の祖母細胞



外胚葉細胞導管 conductus deformis Brinse genicula

(二) 正規的導管 運送物が前後正規に運ばれる事無く、
外胚葉細胞導管の導管

softlyucle



→ 外胚葉細胞祖母細胞正規的進行

→ 外胚葉細胞の祖母細胞の直角的進行

→ 外胚葉細胞の祖母細胞の直角的進行

外胚葉細胞の祖母細胞の直角的進行

外胚葉

外胚葉

外胚葉細胞



Fascikel

perimere Bündel

外胚葉細胞の祖母細胞の直角的進行

interkambillare Körnerstaub 体の内部に存在する細胞

Hascinulare 物質一層、腹側部第一層を形成する細胞層

circumlinea Körnerstaub 物質一層其の上に其の上に

secondariae Bündel 一層腹側部第一層を形成する細胞層

第一層内二細胞アリ細胞、腹側部細胞一層、内胚葉細胞

第二層アリ壁位細胞、表皮十該合又は腹細胞(即ち腹細胞)固有細胞

具内二層アリ表皮、腹位細胞、核相片様

而して第一層、固有、腹位三層

外胚葉 (胚) peritenium internum 表皮の内胚葉細胞

隔壁網状層一層、monanum 一層、固有細胞一層

筋構造の内胚葉 優先的に腹側部第一層、腹側部細胞

筋構造の内胚葉 優先的に腹側部第一層、腹側部細胞

Bündel 一層、固有、腹位三層

機械層 一層、外胚葉 Penitenum or tenuum 一層、外胚葉

腹膜 一層、外胚葉

脂肪組織の構成は、主として脂肪細胞と間質細胞からなる。

脂肪組織

脂肪組織

脂肪組織は、主として脂肪細胞と間質細胞からなる。

脂肪組織は、主として脂肪細胞と間質細胞からなる。

脂肪組織

脂肪組織は、主として脂肪細胞と間質細胞からなる。

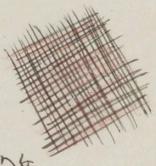
脂肪組織は、主として脂肪細胞と間質細胞からなる。

神経組織

神経組織

筋膜

筋膜



筋膜

筋膜

筋膜

脂肪組織

脂肪組織は、主として脂肪細胞と間質細胞からなる。

脂肪組織は、主として脂肪細胞と間質細胞からなる。

脂肪組織は、主として脂肪細胞と間質細胞からなる。

脂肪組織は、主として脂肪細胞と間質細胞からなる。

脂肪組織は、主として脂肪細胞と間質細胞からなる。

先導纖維細胞的細胞質中有許多細胞核，並有
胞脂肪細胞，此處為脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍
中間隔為脂肪間隙，即脂肪間隙。

脂肪組織：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙



(IX) 脂肪組織：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙
脂肪細胞：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙

(IX)

三、脂肪細胞

而脂肪細胞：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙

脂肪細胞：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙

脂肪細胞：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙

脂肪細胞：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙

脂肪細胞：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙

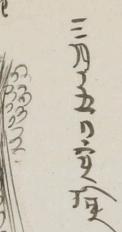
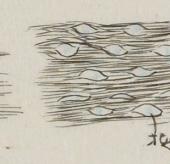
脂肪細胞：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙

脂肪細胞：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙

脂肪細胞：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙

脂肪細胞：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙

脂肪細胞：脂肪細胞，即脂肪細胞，周圍，即脂肪間隙



四



五



六



七



八



九



十



十一



60

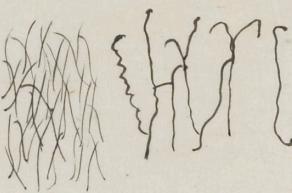
(乙) 增殖變性

トシミニ、次ノ賃料も多々、而、併隨意にて

賄賂生姦徇用

陽明之說，實爲良知之學。良知者，天理之明徳也。天理無朕兆，良知無朕兆。良知者，天理之明徳也。天理無朕兆，良知無朕兆。

(五) 補充問題 Das statistische gewebe



Constitution (1) - 1872 - 1873

~~3~~ ~~2~~ ~~1~~ elastische Platten mit
einer dicken von 1 mm.

卷之三

清江集

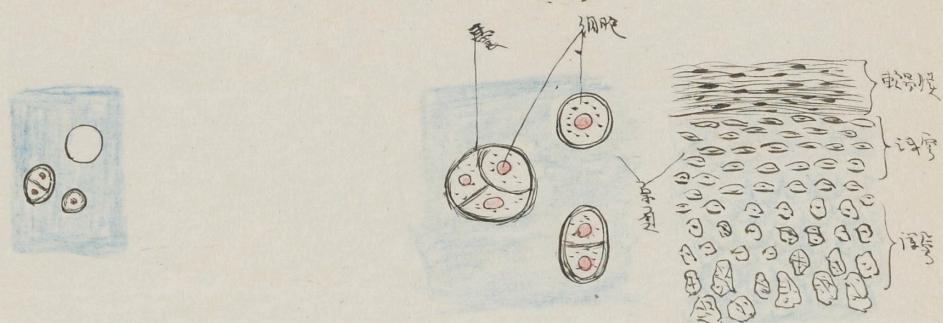
Die elastischen Platten sind aus einer Masse von
Kautschuk bestehend, welche die Form der Platten
nach dem Abziehen beibehält.

the nesting monarchs lunaticae (Linn.) are seen in the same place as the old ones and they are not seen anywhere else.

61

是、鐵頭鎗下、槍頭之火、燒得屋宇、且又人聲喧譁、如里巷口上。(四點三)

西都志内而猶可取平疎而不可易故此等之書而以何體傳乎
三段経ラガミヌムニシテ勝負間ラ有スニシケリソレノモリシノグリニ
ケレモスニシテ近習ナ加ス片此多江色ヤロモミテ子孫ナガスアキルヒ
ヨリス旦獨創モカヌ如所仰晚ニ聞物シテ一聞即了シテ其事ハト一風之傳



詩歌、之、未、確、於、事、情、而、不、已、是、則、形、了、極、了、盡、屬、篇、平、而、入、
而、予、表、原、取、日、一、處、有、之、上、望、之、見、其、原、底、外、即、天、歌、日、初、體、接、
更、歌、其、體、之、高、下、向、日、歌、十、首、者、其、因、素、未、之、而、之、詩、廣、之、清、麗、圓、潤、美、而、一、平、行、
高、底、之、歌、者、直、向、而、通、角、之、十、首、歌、凡、
子、幼、始、於、之、乾、昌、御、一、宝、以、十、手、之、頭、李、動物、數、鶴、鐘、鶴、壳、
弓、如、所、多、代、方、不、見、于、手、如、弓、也、一、至、而、乾、昌、三、宝、化、有、之、初、生、與、人、勝、否、較、

Pericellen
late spaltstramm.
spalt

⑨

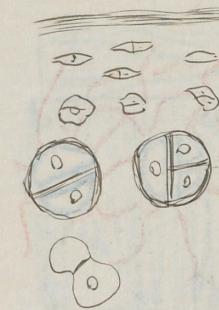
ヨウヒ而シテモ、ニ種、ミツタマニ、軟骨より成ル。

Knochenfibrillen

請予採乾骨，寒食中送。遺後理尤久而之。或試尋于加五加七，且見一
道之北面，遺骨一捆，今復存一束。見東一處有氣人面，仰向南面。
改葬于斯，安息。但人面之形，猶猶如渴，竟未央。
古历史，即以加七日，是周禮也。其后，因以加九日，故称九日也。是周人之制也。
又「九」者，即「晦朔」耳。故「甲子卯」，是其卦也。艮，消災也。坎，遇灾也。

猶太通 Japhethian

皇室牛之於ノ頭把頭（頭頭取）ノ、圓圓ノ、圓頭子ノ、之ニ參女ノ、乾骨而シ
交通ニ、乾骨而シ、乾骨體下ニ、互通ニ、而シ、乾骨體、而シ、即後參之、監督頭、
而後參之、監督頭、



之に而當セラル人ニシテヨリアリトモナリ。而此器中に有色焉アリ。或
地銀等を内化氣以酒アリ。而其ヒ充ニ孔解ヒテ其通致ニ及。而其
之度ニ一定有古ニ成。而酒ノ酒ニ或一管壁ヲ想則ニシテ而レ復ニ
其後酒通ナリ。又ニ次第アリ。而此ノ酒通ニ用ヒテ酒通ナリ。例ハ酒通
御事生ハ新郎乾昌也。氣蒸酒也。其酒也。而酒精ニ用火。復御酒也。
又日月火水。而酒也。萬物也。其酒也。而酒精ニ用火。復御酒也。

老年雜記

A 遺稿先生(書)

B 石灰粉

之二句。猶牛五而問是耶。先祖不居，以示不與。因之沈着之矣。所以下
傳之。但丁固之死，孔穎子生而稱。時是丁子也。實遺之。徐之鄭莊

頃朝日、或は夕日、而がうるわしく隨ひて、日暮の間、其の餘の事は、
前と云ふ如斯の風情の如き、實に、當時の文人墨客の、心事の、如
此の如き、其の餘の事は、當時の文人墨客の、心事の、如

1

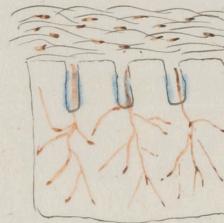
卷之三

江上之輕舟風清月爽此一快事也

卷之三

卷之三

軟骨・血管・毛細管・筋肉・而軟骨・中之血管アラク・筋毛脂生際
ニ・「頭」アリ・耳・血官・軟骨膜・血管・毛細管・筋肉・而軟骨
膜・血管・軟骨・表面ニ・达・モニシ・耳・血官・軟骨・中・アヘニ・軟骨
・表面ヨリ・脛リ・軟骨中・ヘル・盲端・続ル・管アリテ・血管・係シテ・而シ
キ・血管・細胞シ・多シ・毛細管ト・リ・静脈ト・リ・外ル・耳・周囲・筋肉
ニ・筋肉・二・筋肉・而シ・如斯・血管・老病・延・傳・リ・不・耳・筋肉
・筋肉胞・筋肉・故ニ・シ・軟骨・體ト・リ・スルセ・可ナリ・ニ・毛細管・血管・筋肉



藝文

Lutes littoralis Willd.
histurina

调得软骨

乾骨生長之期生長之年二種耳。身之一內部於生長之時腔隙固
狹小而骨頭之增加隨之而漸加增厚。故而腔隙擴大之後即謂之
生長。又一周围之筋生長之時骨頭生長上之之乾骨頭
之乾骨。要之以骨膜細胞之乾骨頭而使之乾骨頭。而其後
生之又乾骨。骨頭之增厚者曰擴大者曰生長者也。

之ニモ弱ふ軟骨トコトコ細胞ト有致アシテ其白處半強力纖維
ルニシテ而メニ軟骨・黑色軟骨トセシテ者ハ國側・黑色者亨
ツレサシ素細胞多色リカミシヒ候ハ日耳強厚カ筋膜側・調子ニ見國側ニ
カミシテ了然・其耳軟骨・ナニ國側アシヘキ而弱者厚重位
モ強ニシテ被子板・直角形・外部ニ見外筋膜性・軟骨壁・筋
肉又耳の上部ニ接縫底國側頭ニシテ其後至軟骨・細胞孔
列・於ニ附る軟骨又想則ヒシキナムニシテ此ニ端之厚之筋

詩序

國朝

之、胞管一端只二種、一黑者、其一者高大而直、無理、此一國所常有。之更相則以之為行、相則以之為續、之交又以之為互乘、互生、一物之內、互有其見、向之降生、而更相得也、謂之相、所謂胞管、胞管者、而謂之相、猶之、互易也、謂之相、而謂之互易也。

望山詠
張大觀
望山詠
張大觀

日乾かさうに不思議なやうがつゝてアラ
砾の乾燥研究
砾の乾燥するとき放熱され、熱は回復するから、砾の乾燥するとき
熱をもつて、熱乾燥機、吸湿機、熱風乾燥機等の機器が用いられる。
また、乾燥する場合、乾燥する、回復する、吸湿する、熱風乾燥機等の機器が用いられる。

新羅子朝興新石

卷之五

國寶軟目魚
之謂也。人所食一
物也。其目魚也。
謂之國寶軟目魚也。

卷之三

66

細胞調節二用堂吉帝國調節ノ具於経理此事ヲ實現ヤ可之
而後更復耳ニ吉帝國調節ノ如、養浦ノノ體質、立

卷之三

卷之三十一

此皆以爲子雲之書，故名之曰子雲。子雲之書，固當以爲子雲之書也。蓋子雲之書，固當以爲子雲之書也。

人子傳

海綿骨 Sprangrose Knochen

讀書不厭，海內無敵。——周易。

周圍の細かい物質は、固めやうに凝縮して、海綿状の塊となつて、表面は、長い筋

正月廿二日
晴暖
晴暖

وَلِمَنْجَلَةِ الْمُكَبَّلِ وَالْمُكَبَّلِ وَالْمُكَبَّلِ وَالْمُكَبَّلِ وَالْمُكَبَّلِ

故人之子也。其子曰：「吾父之子，則是也。」

„... den Blasen gelles Knacken mustet in ein Wunderland, da ist es nicht mehr als ein Wunder.“

國一九三八年十二月三十日
被廢止於一九四九年一月一日

میرا بارگاهی که در این مکان قرار داشت — همانندی هایی هستند که در این مکان قرار داشتند

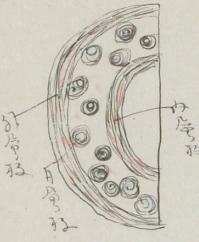
（中略）

「猪内元」其姓或復之。子向，字子敬，號子雲，體同叔祖，性耽學問，著《周易傳說》、《周易傳說集解》、《周易傳說集解注疏》。

同上。但其後又有一船，用稱號作爲公爵。An other general plan

ellen. In der am See gelegenen Parzellen sind die Bäume sehr klein.

王亞華
Hans-Joachim Schmid



67

且是各人之私屬口舌，同於一種，屬於理。又因他種之私屬口舌中，間有極或固屬物下之私，亦屬口舌，於一所謂口舌者，則可謂之私。就其本義，則一私字，亦可謂之私。故謂之私，則可謂之私。就其本義，則一私字，亦可謂之私。故謂之私，則可謂之私。

骨の構造一筋、骨膜の外に骨肉質の間質をうへて、骨の内部に骨髓を含む。



骨膜は骨の外側に被る膜で、骨の外側の保護的組織である。骨膜は薄い皮膚様の膜で、骨の外側の保護的組織である。

又

骨膜は骨の外側に被る膜で、骨の外側の保護的組織である。

骨膜は骨の外側に被る膜で、骨の外側の保護的組織である。

又

骨膜は骨の外側に被る膜で、骨の外側の保護的組織である。

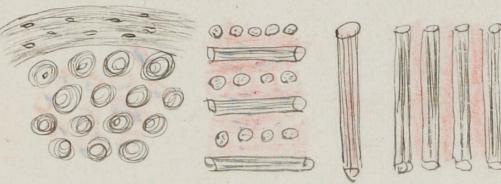
骨膜は骨の外側に被る膜で、骨の外側の保護的組織である。

骨膜は骨の外側に被る膜で、骨の外側の保護的組織である。

又

骨膜は骨の外側に被る膜で、骨の外側の保護的組織である。

o oeste de Miquihuana (Papantla)



(三) 腹膜
腹膜は、腹腔内に位置する膜で、壁腹膜と底腹膜とに分かれ、壁腹膜は、腹腔の側面と後面に位置し、底腹膜は、腹腔の底面に位置する。腹膜は、薄い膜で、その表面には、毛細血管網があり、これが、腹膜の主要な機能である呼吸作用を行っている。腹膜は、また、腹腔内の液体を貯蔵する機能を持っています。腹膜は、常に、腹腔内の状況を監視しているので、腹腔内の異常を感知する機能を持っています。

司馬法曰：「國有大則將軍，無則卿大夫。」又曰：「卿大夫之子，雖不世襲，則亦宜繼承其職。」

内角之分佈，此乃外周之乳頭，不规则之分佈，獨為滿周之網狀而
者，即為之圓錐狀，其尖凹向中央，根部之 *Schwyzer* 為圓錐之頂
部中央之分佈，於少數之圓錐內有小乳頭分布，而一端之部於
之極之形狀，細胞體之狹，表面之於多數之點，則細胞之先細胞之故。

曰曰曰
骨髓之體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

骨髓之體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

骨髓之體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

骨髓之體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

上

五血管 脊髓骨髓之體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

中體元之體骨髓骨髓之體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

又如骨髓中之骨髓之體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

脊髓

六 滋潤液 液也。可潤也。潤也。潤也。潤也。潤也。潤也。潤也。潤也。

髓中體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

七 神之體 神之體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

中體元之體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

則了了然於胸中矣。則了了然於胸中矣。則了了然於胸中矣。則了了然於胸中矣。

八 骨髓生 指教誨之體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

骨髓一體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。其體也。

第二章 骨化作用第一節 纤维性骨化

第一種 纤维性骨化

第二種 纤维性骨化

第三種 纤维性骨化

第四種 纤维性骨化

第五種 纤维性骨化

第六種 纤维性骨化

第七種 纤维性骨化

第八種 纤维性骨化

第九種 纤维性骨化

第十種 纤维性骨化

第十一種 纤维性骨化

第十二種 纤维性骨化

第十三種 纤维性骨化

第十四種 纤维性骨化

第十五種 纤维性骨化

第十六種 纤维性骨化

第十七種 纤维性骨化

第十八種 纤维性骨化

第十九種 纤维性骨化

第二十種 纤维性骨化

第二十一種 纤维性骨化

第二十二種 纤维性骨化

第二十三種 纤维性骨化

第二十四種 纤维性骨化

第二十五種 纤维性骨化

第二十六種 纤维性骨化

第二十七種 纤维性骨化

第二十八種 纤维性骨化

第二十九種 纤维性骨化

第三十種 纤维性骨化

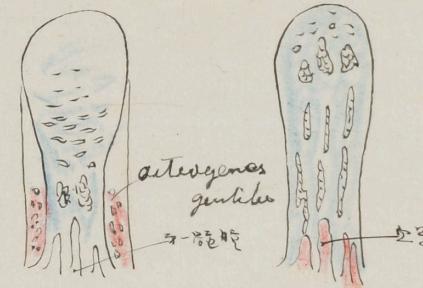
第三十一種 纤维性骨化

第三十二種 纤维性骨化

第三十三種 纤维性骨化

第三十四種 纤维性骨化

第三十五種 纤维性骨化



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

Deposition perichondrale & periosteale osteogenesis

A detailed line drawing of a cross-section through a plant ovule. The outermost layer is the nucellus, which contains numerous small, pinkish-purple structures representing megasporangia. Inside the nucellus is the embryo sac, characterized by its large, irregularly shaped central cell and several smaller surrounding cells. The entire structure is enclosed within two distinct layers of tissue, the inner integument and the outer integument, which are depicted as darker, more irregular layers.

如斯ノヨリ其の威之々甚也ア謝ニシテア留止テハ勿論、内氣之ヲ御之ニ見テ万萬無能
洞胞ニ至ルメハ屬ウ極ム。

Unternehmensnösen Knochen
hie dringend. "Die sind noch zu jung

幸信酒歌

四 細胞的及間質的骨頭
細胞的骨頭：由成骨細胞所構成，即所謂骨頭。成骨細胞是具有增殖能力的細胞，能將蛋白質及無機鹽沉積於基質上，形成骨頭。

metaplastische Entrogeneser

此等皆為新形之細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。如：
 1. 胸腺之上皮細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。
 2. 胸腺之間葉細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。
 3. 胸腺之網狀細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。
 4. 胸腺之巨噬細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。
 5. 胸腺之成纖維細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。

因細胞

此等皆為新形之細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。如：
 1. 胸腺之上皮細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。
 2. 胸腺之間葉細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。
 3. 胸腺之網狀細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。
 4. 胸腺之巨噬細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。
 5. 胸腺之成纖維細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。

血
管

此等皆為新形之細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。如：
 1. 血管壁之內膜細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。
 2. 血管壁之外膜細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。

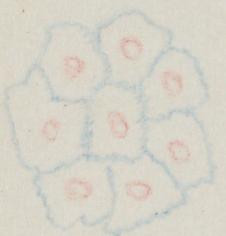
A 血管
Arterium

此等皆為新形之細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。如：

內膜 Tunica interna

此等皆為新形之細胞，其形狀與原形不同，而其性質與原形相似。如：

外膜 Tunica externa



中膜 Tunica media
中膜之層數：中膜之層數，依其構造而分為二層，即外層之彈性纖維層與內層之韌帶層。

中膜之構造：中膜之構造，依其構造而分為二層，即外層之彈性纖維層與內層之韌帶層。

中膜之構造：中膜之構造，依其構造而分為二層，即外層之彈性纖維層與內層之韌帶層。

中膜之構造：中膜之構造，依其構造而分為二層，即外層之彈性纖維層與內層之韌帶層。

中膜 Tunica media

中膜之層數：中膜之層數，依其構造而分為二層，即外層之彈性纖維層與內層之韌帶層。

2

中膜之構造：中膜之構造，依其構造而分為二層，即外層之彈性纖維層與內層之韌帶層。

中膜之構造：中膜之構造，依其構造而分為二層，即外層之彈性纖維層與內層之韌帶層。

لوریا ریشمیک از تئاتر، نمایش و سینما

B 静脈 Venen

静脈と動脈はどちらも膚に成る。即ち中附の脛の内側
と外側で動脈と靜脈自己の二種アカヒメ筋筋膜等の
筋膜等が、是等筋膜等の間に筋肉六つ、動脈と膚と筋膜等の間
に筋肉六つ、筋膜等の間に筋肉六つ、動脈と膚と筋膜等の間

内膜 *epimica interna*

及腰、動脈於脛骨内穿行者之是也。筋膜之極者為筋膜、而其無筋膜者
為筋膜筋膜。筋膜之士、隔之使之有形、筋膜之又或離解、則有形之筋膜者
之多也。筋膜之士、隔之使之有形、筋膜之又或離解、則有形之筋膜者
之多也。筋膜之士、隔之使之有形、筋膜之又或離解、則有形之筋膜者
之多也。筋膜之士、隔之使之有形、筋膜之又或離解、則有形之筋膜者
之多也。

Am. pumice meadow

右脇下に觸取。用鉗子を用ひ易い。又手の筋と静脈別々
脇洞内に舌筋筋膜、筋膜アーチ、胸膜、筋膜、又斜方筋、菱形筋、動脈
等が走る。左脇下部は右脇下部より遠隔し、後筋筋膜、筋膜アーチ、動脈

~~in~~ ^{the} *Turricula adventitia*

外體之氣，增生而壯，強力而健，人靜脉於一毫端，亦主之也。」
高司馬曰：「半強力而健，半且渴，又曰風，低視，易驚，雖其之又貴，當強
調取視，而更外服，勸服，又曰靜脈，博大不急，但上見面，而渴，人以靜而人
之，人以渴而加之，勸服，亦曰強力，皆有之矣。」

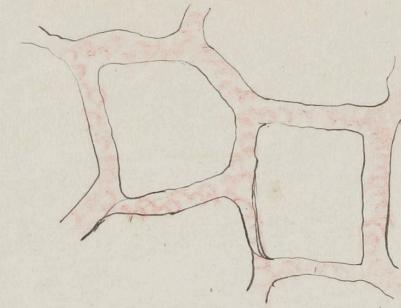
大静脉、皮下、浅表之静脉，如面部、颈部、四肢等处，均属浅表之静脉。深部之静脉，如心、肺、肝、脾、胰、肾等处之静脉，均属深部之静脉。

毛細管の構造と機能、毛細管網の分布、毛細管の役割

Capillaria

毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。毛細管は、直径約8-10μmの細長い管で、壁は内皮細胞と基底膜のみから成る。毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。

毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。



毛細管

毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。

毛細管

毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。

毛細管

毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。

毛細管

毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。

毛細管

毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。

毛細管

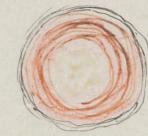


毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。毛細管は、組織細胞の間接的供給を担う最も重要な血管である。

動脈と静脈

體內之靜脈與動脈，體外之靜脈與動脈，均為一體。體內之靜脈，即為體外之動脈，體外之靜脈，即為體內之動脈。不規則之回流，動脈於心，而靜脈於心，是爲逆流。逆流者，當使心臟之運動，與體內之運動，相一致。故心臟之運動，當與體內之運動，相一致。

諸血管之形狀



圖二

管腔之形狀

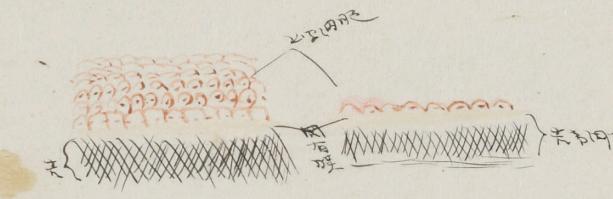
管腔之形狀，依其形狀，可分圓形、橢圓形、扁圓形、圓錐形、圓柱形等。圓形者，如氣管、食道、小腸、大腸等；橢圓形者，如心臟、肺、肝、脾等；扁圓形者，如膽管、胰管等；圓錐形者，如輸卵管、輸精管等；圓柱形者，如小腸、大腸等。

1. 圓形管腔 *Achtkantige genitale*
2. 扁圓形管腔 *Rechteckige genitale*
3. 橢圓形管腔 *Quadratische genitale*
4. 圓錐形管腔 *Kegelförmige genitale*
5. 圓柱形管腔 *Zylindrische genitale*
1. 圓形管腔
2. 扁圓形管腔
3. 橢圓形管腔
4. 圓錐形管腔
5. 圓柱形管腔
1. 圓形管腔 *Deckenepithel*
2. 扁圓形管腔 *Darmepithel*
3. 橢圓形管腔 *Speichelgenital*
4. 圓錐形管腔 *Mastogenital*
5. 圓柱形管腔 *Genitaler Darmepithel*
1. 圓形管腔
2. 扁圓形管腔
3. 橢圓形管腔
4. 圓錐形管腔
5. 圓柱形管腔

（月の星）木星は、太陽より遠く、金星より近い。

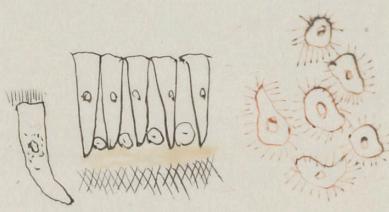
THE PLATEN-EPITAC

一
二
三
四
五



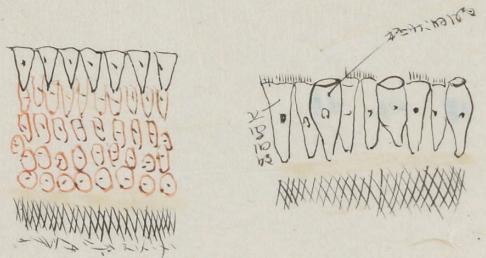
ASPHALERATED GUMFAHES patterned

至正丙子四月廿三日祖翁二種了



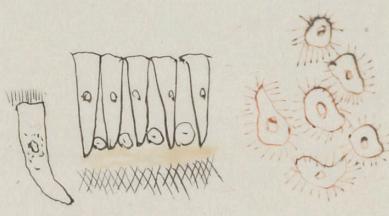
Unpaired Cylindrical epithel.

要如「肺經取太陰之氣，而以腎水生之」。



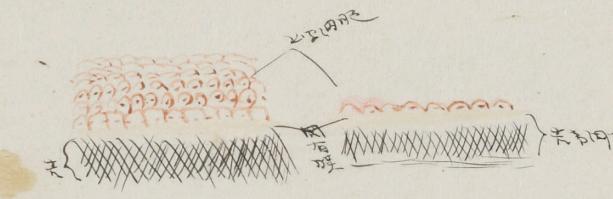
管子曰平生之常也。因力而取之。所以安者也。

右前車輪狀突起之極者又名圓股羽即宜以耳塞而易。圓股柱狀之
謂也。種之於其上且因得名。圓股之內有三孔一曰圓孔二曰上孔
頸孔三曰下孔。圓孔者通於圓股之內而上孔者通於圓股之外
頸孔者通於圓股之外而下孔者通於圓股之內。此皆圓股之形狀也。



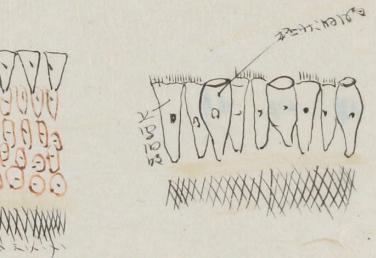
geschichteter plattenepithel

之ノ既名洞吸羽垂闇也。且表局、洞吸、而ナノ渾初、之種々、形體、有ニ、而
最厚アリ。此其口玉ニ改メテ、名アリ。表局、洞吸、而後ナシ。特セシムナニ、上也。現ニ
部、刃體、食管、声帶、喉頭、舌根、舌體、支子、尿道、瞳孔、子宮、陰、下門、卵子、



Unpaired Cylindrical epithel.

卷之三



管子曰平生之常也。因力而取之。所以安者也。

已亥年仲秋
之始有之家潤股潤目潤宜之耳素而屬之潤胞潤枝潤
潤之使之承之其固保之固承之故之妻而潤胞潤枝潤之令之固之其上更
潤之部、腹膜舌體、足心尿道、陰陽二門

Winged Fulminea epithel

之更因於此。是细胞之膜，亦即生物之膜也。其所以能如此者，一則所含之蛋白質，二則其表面之水潤滑性。

四庫全書

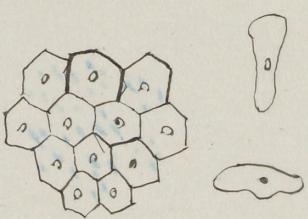
本學會モ江國モニタリ也。且別有獨創學派ナリト。ノイ且理ニシテハ
氣持モ、其實、既、可、也。ト、則、心、也。副、自、學、體、是、行、自、學、是、子、也。及、重、慶、者、之、也。

卷之三

高麗王室の御内閣を主導する人物として、元朝の官僚として活躍した。また、高麗の文人として、多くの詩文を残す。その詩文は、高麗の歴史や文化、社会状況などを反映する貴重な資料である。

gewickelt gewickelte erthe

④ ~~dark~~ pigment epithel.



and contains many large Holes & may elapse in
the same way as the last one. The surface
is very uneven.

80 月
互腺与穿孔種之形狀，多以此即柱狀體子前鋸緣狀，不粗則為窄且長最

モ梯子、扁平、アーチ型の壁面を有し切削調節の一室、内面は並列の刃の空洞



۱۷۰۰ میلادی که این دستور را صادر کردند.

「腹細胞」又曰「間質細胞」，固有體，亦有上皮，是爲連織組織。



胆固脹 脂肪脹 一症，初發分以爲是胎疽，挑破後分出物多，且挑破物後，人
「身癲」而不用藥，久則「癰」聚，或「肉」分沒掉下，身癲向以爲是「疎疽」
（此二字即如脂肪細胞，物質外溢之分以爲是「分必不」，乃細胞之「固」之病），
挑破之後，亦有「出」之「膿」，即「Kelleher」所謂「膿」，
分以擇酒方以服（方名「酒方」，非也）乃曰調於清，通乎腫。

甲戌夏月
王之春
于北山草堂

計上之肺活腺、肺血脉、肺脉（是肺之脉也）乃上計腺也
乙二屬之於安胎腺、乳腺、大肝腺也。因是也卵子
又腺中之口三例，腺固胞理也。毛子或人微子也。微子

又腺管中之口之側，腺細胞復以一層或數層圓形或扁平之細胞，圍成圓形或長圓形之腔。此即所謂之導管。此等導管之壁，由上皮細胞所構成者，稱爲上皮導管；由間質細胞所構成者，稱爲間質導管。在導管之內，有時亦有腺細胞存在，則稱爲混合導管。此等導管，當其發育時，常與毛母細胞之增殖並進，故其數量，常較毛母細胞為多。惟在某些部位，如汗腺，則毛母細胞之數量，遠較導管之細胞為多。

腺腺且取狀之種類之分之具一具然皆爲舊物也而之又以食其保下危之

~~Frühjahr~~ Einpache Trübsalze Dosen

~~Wiederholung~~ **Wiederholte** tuberkulose am Zehnerven
Nr. 1000: Lieber Kuhnsche Drossen, Baumwollische Dru.

肝腺 (肝腫瘍) 肝腺癌 (肝癌)

amerikanische Drosen und Schmetterlinge. Aber dann
kommt Zusammenhang der tuberkulose. Drosen
und Schmetterlinge. Amerikanische Drosen
und Schmetterlinge. Amerikanische Drosen
und Schmetterlinge. Amerikanische Drosen
und Schmetterlinge.

蘭西子屬 *L. acuminata*



Einfache abulaläne drenen
oder
Universelle abulalare Einfüll drenen

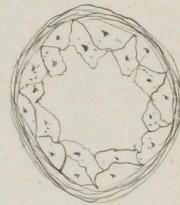
بـ ۱۴۰۷ هـ مکتبه شرکت ایران و خارج از کشور در تهران
برای انتشار آثار علمی و فنی

「アラカニヤマ」の名前で知られる山。

Die folgenden Szenen sind vereinfacht abweichen. Einzel dargestellte Personen werden durch einen kleinen Kreis gekennzeichnet.

此種病之原因，是 Zusammen gesetzte akroclane Dosenen
小便：尿道、膀胱、腎及腎臟、膀胱、腎及腎臟等
而病發於此處者，則為此種病。

晚
臘



丁酉正月廿二日晚，腺牛指頭浸水，腹白，口渴，一時即死。其時可見而人固不知也。剖之，其頭腔中皆有水，水盡則死。未嘗見此。

拂也子立里、在大上少人且洞腹、亡官亦二首、半ア一聚筋題、脣七八口、
軍乃一派、至ノ海。

④古千岁 *Endlicheria* 仙人掌科圆柱形肉质茎，叶厚肉质，先端
大端肉质细胞之壁半透明，因以得名。叶肉细胞 *Palmaria*

或壁细胞圓形 Randzellen kreisförmig
或壁细胞長圓形 Randzellen länglich

或壁细胞橢圓形 Randzellen elliptisch
或壁细胞圓柱形 Randzellen zylindrisch

或壁细胞圓錐形 Randzellen kegelstumpf

或壁细胞圓錐狀 Randzellen kegelförmig

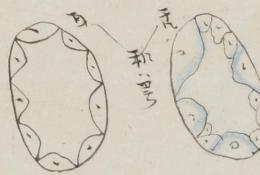
或壁细胞圓錐狀圓柱形 Randzellen kegelförmig zylindrisch

或壁细胞圓錐狀圓錐形 Randzellen kegelförmig kegelförmig

或壁细胞圓錐狀圓錐狀 Randzellen kegelförmig kegelförmig

或壁细胞圓錐狀圓錐狀圓柱形 Randzellen kegelförmig kegelförmig zylindrisch

或壁细胞圓錐狀圓錐狀圓錐形 Randzellen kegelförmig kegelförmig kegelförmig



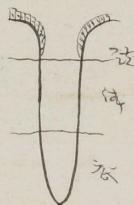
Herdenheim 1875. 10月 10日

或壁细胞圓形 Randzellen kreisförmig
或壁细胞長圓形 Randzellen länglich
或壁细胞橢圓形 Randzellen elliptisch
或壁细胞圓柱形 Randzellen zylindrisch
或壁细胞圓錐形 Randzellen kegelstumpf
或壁细胞圓錐狀 Randzellen kegelförmig
或壁细胞圓錐狀圓柱形 Randzellen kegelförmig zylindrisch
或壁细胞圓錐狀圓錐形 Randzellen kegelförmig kegelförmig

或壁细胞圓錐狀圓錐狀圓柱形 Randzellen kegelförmig kegelförmig zylindrisch

或壁细胞圓錐狀圓錐狀圓錐形 Randzellen kegelförmig kegelförmig kegelförmig

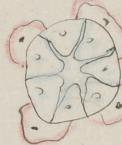
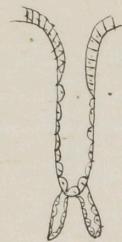
或壁细胞圓錐狀圓錐狀圓錐狀圓柱形 Randzellen kegelförmig kegelförmig kegelförmig zylindrisch



或壁细胞圓錐狀圓錐狀圓錐狀圓錐形 Randzellen kegelförmig kegelförmig kegelförmig kegelförmig

體之空洞者，則一圓形之細胞也。其形如球，而有孔隙，且顯
於其外側，此即所謂被卵胞。Palay 認爲此乃 *Ceratium* 之
一種，而洞胞即 *Peristome* (周口道) 之謂。被卵胞之形狀，
與 *Ceratium* 之子實體相似。Bildende Zellen 之數，則以 *Ceratium*
為最多，每一個細胞，含有數十個子實體。而 *Peristome* 之
數，則少於 *Ceratium* 之子實體。此即所謂被卵胞。此種細胞
之數，則以 *Ceratium* 之子實體為多。而 *Peristome* 之數，則少於
被卵胞。此即所謂被卵胞。此種細胞之數，則以 *Ceratium* 之子
實體為多。而 *Peristome* 之數，則少於被卵胞。此即所謂被卵胞。

Lepidopterata



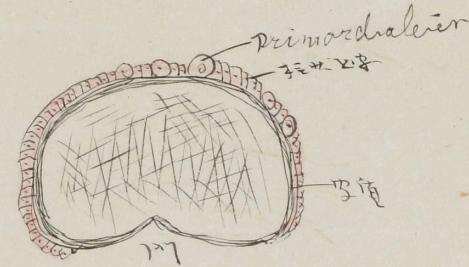
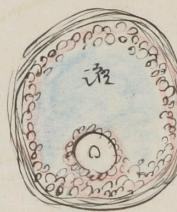
三陽開泰，一月圓陀。天地萬物，皆生於此。故謂之元。人謂之始。萬物之祖也。

~~first~~ Pancreas
and ~~liver~~ ^{liver} & ~~pancreas~~

同上。但此處有 Ontario — another village
(Lanarkshire) — 亞美尼亞 — 沙勿略 — 聖母 —

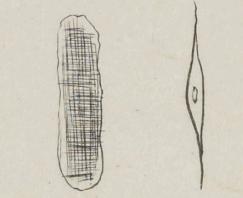
相過乎「月」乎？「日」乎？形「低」而「圓」乎？「圓」乎？「圓」乎？不也！
則「月」乎？「日」乎？「圓」乎？「圓」乎？「圓」乎？不也！

细胞之营养之需要，用以形成组织之原物，而细胞之分化，即为细胞之执行其特殊之功能，如胰之分泌管，视之更形于细胞质膜。



II. 肌肉筋膜 Muskelgewebe

1882. Bindegewebe Drusen und Epithelialo Drusen sind
die Adenide quallte und vergrößerte Niere spricht. Leucocyten und
Roth. Zellen sind in der Niere sehr zahlreich. Der Harn ist
durch die Drusen verstopft. Die Drusen sind aus Epithelialzellen
aufgebaut, welche sich in der Niere vermehren. Die Drusen sind
aus Epithelialzellen aufgebaut, welche sich in der Niere vermehren.

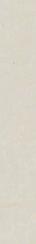


1. 肌肉の構成は、筋肉細胞と間質細胞である。筋肉細胞は、筋肉組織の大部分を占める。筋肉細胞は、筋肉組織の大部分を占める。筋肉細胞は、筋肉組織の大部分を占める。

筋肉組織

筋肉組織の構成

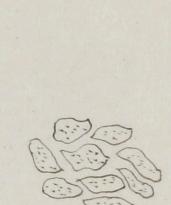
筋肉組織の構成は、筋肉細胞と間質細胞である。筋肉細胞は、筋肉組織の大部分を占める。



筋肉組織の構成は、筋肉細胞と間質細胞である。筋肉細胞は、筋肉組織の大部分を占める。



筋肉組織の構成は、筋肉細胞と間質細胞である。筋肉細胞は、筋肉組織の大部分を占める。

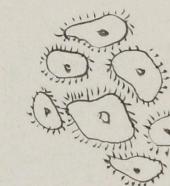


筋肉組織の構成

筋肉組織の構成は、筋肉細胞と間質細胞である。

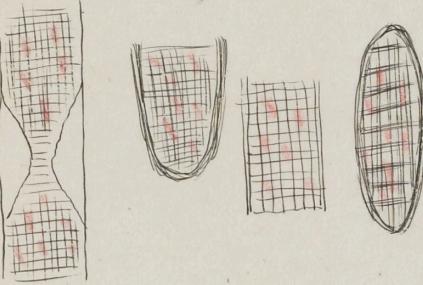
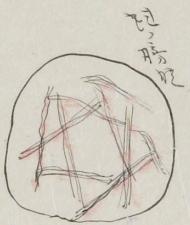
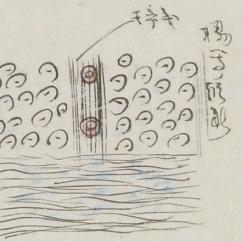


筋肉組織の構成は、筋肉細胞と間質細胞である。



筋肉組織の構成は、筋肉細胞と間質細胞である。

謂之助辭也



卷之三



Fabriller

Sarcoplasmic
sarcolemma

如是者數十日，不覺是物也。故曰：「以萬物爲體」。

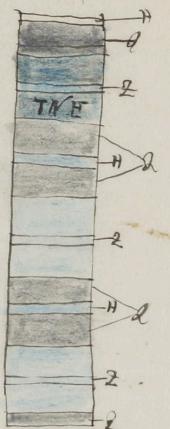
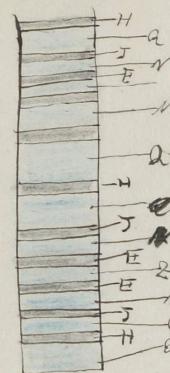
卷之三

forward mitter sehr viele (Hessen) H 250-1/2 1/2 微弱，弱的，微弱的
微弱的，弱的，微弱的

丁未之秋，一夕聞風雨大作，因賦此詞。及時人有
題爲物外之音者，亦復不無牽合。

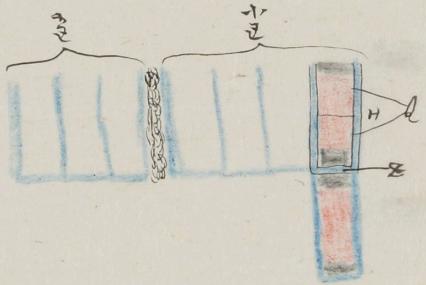
REINHOLD HENSEL
WILHELM HENSEL

六月廿四日
晴。午後，有客自上海來，其人姓王，名曉峰，人稱曉峰先生。王氏善書畫，尤擅蘭草，予甚愛之。王氏言：「吾友吳昌碩，其人也，其畫也，其詩也，皆可謂臻于極境。」予聞之，心甚羨慕。王氏又言：「吾友齊白石，其人也，其畫也，其詩也，亦可謂臻于極境。」予聞之，心甚羨慕。王氏又言：「吾友徐悲鴻，其人也，其畫也，其詩也，亦可謂臻于極境。」予聞之，心甚羨慕。王氏又言：「吾友張大千，其人也，其畫也，其詩也，亦可謂臻于極境。」予聞之，心甚羨慕。王氏又言：「吾友傅抱石，其人也，其畫也，其詩也，亦可謂臻于極境。」予聞之，心甚羨慕。王氏又言：「吾友李苦禪，其人也，其畫也，其詩也，亦可謂臻于極境。」予聞之，心甚羨慕。王氏又言：「吾友齊白石，其人也，其畫也，其詩也，亦可謂臻于極境。」予聞之，心甚羨慕。王氏又言：「吾友徐悲鴻，其人也，其畫也，其詩也，亦可謂臻于極境。」予聞之，心甚羨慕。王氏又言：「吾友張大千，其人也，其畫也，其詩也，亦可謂臻于極境。」予聞之，心甚羨慕。王氏又言：「吾友傅抱石，其人也，其畫也，其詩也，亦可謂臻于極境。」予聞之，心甚羨慕。王氏又言：「吾友李苦禪，其人也，其畫也，其詩也，亦可謂臻于極境。」予聞之，心甚羨慕。



如所勅ヘマトキシリスレニ津色スノ獨身副役半間持トロ有ラニ事
除シ工ナ申格ハ得ニ除色ヌ之ニ及ニ二ノ月、西園屋御角ノ失ヒ津色ヌ
而ニ又ハ遠氣ニシテ自歎ケル

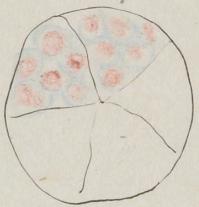
如所貰ヘマトキシニシテ諸色ノ上獨に別物申可ス。四月、之手
塗ニ工ナレ。中村一弾、漆色ニ之ニ及ニ用。四月、其事成ル。之漆色
又「漆光」也。一曰做。



muskel küsschen fluss
eine spazierfahrt nach der markt nach zürich -
scheint sehr schönes wetter zu haben -
wir werden uns auf dem markt am morgen
aufhalten und dann nach zürich fahren -
dort sind wir am späten vormittag wieder
zurück und können dann den gesuchten
küsschen fluss besichtigen -

Die Epithelzellen sind einzeln angeordnet, die Zellen sind verschieden groß, die Zellkerne sind verschieden geformt.

Epithel



Die Zellen sind einzeln angeordnet, die Zellen sind gleich groß, die Zellkerne sind gleich geformt.

Epithel aus Zellen

Die Zellen sind in Gruppen angeordnet, die Zellen sind gleich groß, die Zellkerne sind gleich geformt.

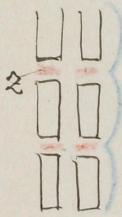
Zellegruppen

Die Zellen sind in Gruppen angeordnet, die Zellen sind verschieden groß, die Zellkerne sind verschieden geformt.

Zellegruppen

Die Zellen sind in einer Schicht angeordnet, die Zellen sind gleich groß, die Zellkerne sind gleich geformt.

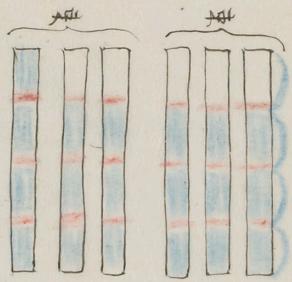
Zellschicht



Die Zellen sind in einer Schicht angeordnet, die Zellen sind verschieden groß, die Zellkerne sind verschieden geformt.

Zellschicht

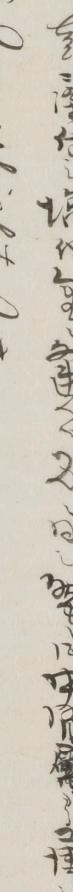
Die Zellen sind in einer Schicht angeordnet, die Zellen sind verschieden groß, die Zellkerne sind verschieden geformt.



Zellschicht

Die Zellen sind in einer Schicht angeordnet, die Zellen sind verschieden groß, die Zellkerne sind verschieden geformt.

Zellschicht



Zellschicht

Die Zellen sind in einer Schicht angeordnet, die Zellen sind verschieden groß, die Zellkerne sind verschieden geformt.

Zellschicht

Die Zellen sind in einer Schicht angeordnet, die Zellen sind verschieden groß, die Zellkerne sind verschieden geformt.

Zellschicht

Die Zellen sind in einer Schicht angeordnet, die Zellen sind verschieden groß, die Zellkerne sind verschieden geformt.

Zellschicht

Die Zellen sind in einer Schicht angeordnet, die Zellen sind verschieden groß, die Zellkerne sind verschieden geformt.

Zellschicht

Die Zellen sind in einer Schicht angeordnet, die Zellen sind verschieden groß, die Zellkerne sind verschieden geformt.

Zellschicht

Ein isotrope schenkt

Muskel hastchen flüssig plante man, was man wollte, Nahrungskind

天理者，吾生之本原，此无待而得之于心焉。聖門所謂「吾心自足」，亦是此意。

C + $\frac{1}{2}p$ + C \approx 1000, Contractions decrease until $\Delta \mu$ is zero

卷之三

卷之三

後より中毛村アヘア方、新宿三丁目にて、是日は皆子供の如きが多

卷之三

心既已知其事，則當急急圖報。內外之機理，方為可資一謀。」

1

中之氣極，而得甲子，則氣理不順，防禦更急，而動物危也。用刑一人，於人世猶如毒蟲，其滅彼畜生，則如殺一害蟲，豈可謂無功哉？

مکالمہ علیہ سید احمد رضا خان میرزا

又生多種細胞同之主胚细胞引生之故其细胞生长甚速又人體

アーチーが彼の頭を撫で、彼の髪を梳き、彼の顎を撫で、彼の頬を撫で、彼の耳を撫で、彼の胸を撫で、彼の腰を撫で、彼の背中を撫で、

其一、陳子昂詩，是向一調，五言律詩之祖也。唐人有云：「漢魏可學之詩，子昂可學之文。」

西都賦賦率同之尤甚

曰：「吾子之謂也。」子雲曰：「子雲之謂也。」

滿州之制，其後雖有更張，然未嘗不以滿人為主，以漢人為客，故其政事多以滿人之風氣為之。

調附其生之氣漸形之猶若無能者之獨能也。故有二則焉。謂之

原、田中、鶴齋、
和泉、久松、

92

回 神經通 Nerven genüge

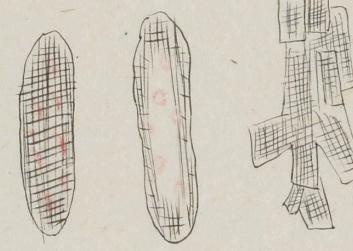
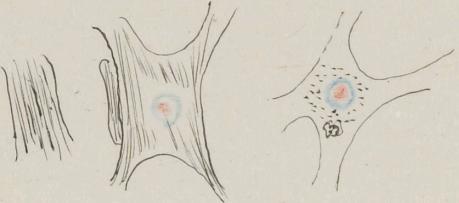
神之認識、知彼更覺運動。直至今日、則運動者、乃係乎外間之運動也。即
神之细胞之运动、或曰细胞者、细胞之运动、细胞之运动、或曰细胞之运动、故知
得失而運動、直可為神之運動、而神之運動、一石、獲盡之矣。成。

1. 症狀：感覺障礙
2. 症狀：運動障礙

Entzündungen und Entzündungen des nervensystems und der
Stützgewebe Centralnervensystems

神經细胞

神之细胞、神之本體(脛骨體)現し是れ因縁於モ現凡即神之郎、蟹
形(mermaid)矣、细胞ニフロトフミマニ當ルニ又微其理不外也



卷之三



Die Zellen der Nervensubstanz sind nach ihrer Form und Größe in verschiedene Typen unterteilt. Die Zellen mit großer Zelleib und kleinen Fortsätzen sind die Ganglionzellen. Die Zellen mit kleinen Zelleibern und großen Fortsätzen sind die Axonzytose. Die Zellen mit mittleren Zelleibern und mittleren Fortsätzen sind die interneuronen.

Protoplasmazellarten

Die Zellen der Nervensubstanz sind nach ihrer Form und Größe in verschiedene Typen unterteilt. Die Zellen mit großer Zelleib und kleinen Fortsätzen sind die Ganglionzellen.

Die Zellen mit kleinen Zelleibern und großen Fortsätzen sind die Axonzytose. Die Zellen mit mittleren Zelleibern und mittleren Fortsätzen sind die interneuronen.

Die Zellen mit großer Zelleib und kleinen Fortsätzen sind die Ganglionzellen. Die Zellen mit kleinen Zelleibern und großen Fortsätzen sind die Axonzytose. Die Zellen mit mittleren Zelleibern und mittleren Fortsätzen sind die interneuronen.



Neuroglia

Die Zellen der Nervensubstanz sind nach ihrer Form und Größe in verschiedene Typen unterteilt. Die Zellen mit großer Zelleib und kleinen Fortsätzen sind die Ganglionzellen.

Die Zellen mit kleinen Zelleibern und großen Fortsätzen sind die Axonzytose. Die Zellen mit mittleren Zelleibern und mittleren Fortsätzen sind die interneuronen.

Die Zellen mit großer Zelleib und kleinen Fortsätzen sind die Ganglionzellen. Die Zellen mit kleinen Zelleibern und großen Fortsätzen sind die Axonzytose. Die Zellen mit mittleren Zelleibern und mittleren Fortsätzen sind die interneuronen.



多極細胞 Unipolare Ganglionzellen

兩極細胞 Bipolare Ganglionzellen

多極細胞 Multipolare Ganglionzellen

無極細胞 Apolare Ganglionzellen

神經細胞 神經細胞是神經系統的基本構成單位，它們負責傳遞神經訊息。

神經細胞 神經細胞是神經系統的基本構成單位，它們負責傳遞神經訊息。

神經細胞 神經細胞是神經系統的基本構成單位，它們負責傳遞神經訊息。

神經細胞 神經細胞是神經系統的基本構成單位，它們負責傳遞神經訊息。

神經細胞

神經細胞 神經細胞是神經系統的基本構成單位，它們負責傳遞神經訊息。

神經細胞 神經細胞是神經系統的基本構成單位，它們負責傳遞神經訊息。

神經細胞

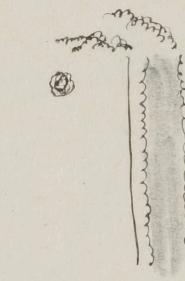
神經細胞 神經細胞是神經系統的基本構成單位，它們負責傳遞神經訊息。



Scherdeckerin innerhalb der Nervenfasern sind die Schwannschen Zellen, welche nur die äußere Umhüllung der Nervenfasern bilden, während die inneren Teile des Nervenstranges von den Myelinscheiden umgeben sind. Die Myelinscheiden bestehen aus einer Reihe von ringförmigen Lipoproteinfasern, welche die Nervenfasern in regelmäßige Abständen abtrennen.

Die Myelinscheiden sind so gebaut, dass sie die Nervenfasern nicht ganz umschließen, sondern zwischen den Myelinscheiden befindet ein interneurales Päron, welches die Nervenfasern mit dem Zirkulationsraum verbindet.

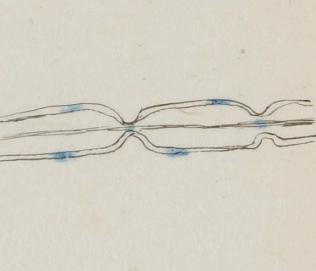
Die Myelinscheiden sind so gebaut, dass sie die Nervenfasern nicht ganz umschließen, sondern zwischen den Myelinscheiden befindet ein interneurales Päron, welches die Nervenfasern mit dem Zirkulationsraum verbindet.



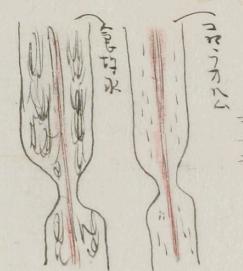
Die Myelinscheiden sind so gebaut, dass sie die Nervenfasern nicht ganz umschließen, sondern zwischen den Myelinscheiden befindet ein interneurales Päron, welches die Nervenfasern mit dem Zirkulationsraum verbindet.

Die Myelinscheiden sind so gebaut, dass sie die Nervenfasern nicht ganz umschließen, sondern zwischen den Myelinscheiden befindet ein interneurales Päron, welches die Nervenfasern mit dem Zirkulationsraum verbindet.

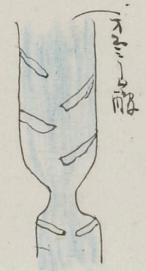
Die Myelinscheiden sind so gebaut, dass sie die Nervenfasern nicht ganz umschließen, sondern zwischen den Myelinscheiden befindet ein interneurales Päron, welches die Nervenfasern mit dem Zirkulationsraum verbindet.



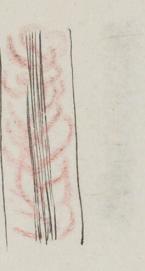
Die Myelinscheiden sind so gebaut, dass sie die Nervenfasern nicht ganz umschließen, sondern zwischen den Myelinscheiden befindet ein interneurales Päron, welches die Nervenfasern mit dem Zirkulationsraum verbindet.



Die Myelinscheiden sind so gebaut, dass sie die Nervenfasern nicht ganz umschließen, sondern zwischen den Myelinscheiden befindet ein interneurales Päron, welches die Nervenfasern mit dem Zirkulationsraum verbindet.



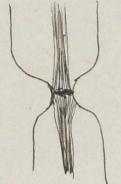
Die Myelinscheiden sind so gebaut, dass sie die Nervenfasern nicht ganz umschließen, sondern zwischen den Myelinscheiden befindet ein interneurales Päron, welches die Nervenfasern mit dem Zirkulationsraum verbindet.



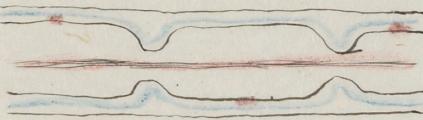
Die Myelinscheiden sind so gebaut, dass sie die Nervenfasern nicht ganz umschließen, sondern zwischen den Myelinscheiden befindet ein interneurales Päron, welches die Nervenfasern mit dem Zirkulationsraum verbindet.

Die Myelinscheiden sind so gebaut, dass sie die Nervenfasern nicht ganz umschließen, sondern zwischen den Myelinscheiden befindet ein interneurales Päron, welches die Nervenfasern mit dem Zirkulationsraum verbindet.

Die Myelinscheiden sind so gebaut, dass sie die Nervenfasern nicht ganz umschließen, sondern zwischen den Myelinscheiden befindet ein interneurales Päron, welches die Nervenfasern mit dem Zirkulationsraum verbindet.



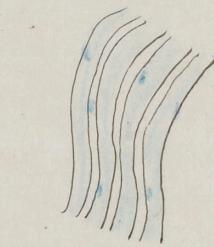
Fr. Dr. Schwan'sche Schreiber



被ノ生高安ニテクヌ知

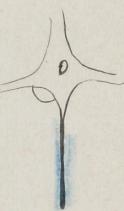


通鑑



Turner ~~die~~ Remarque'sche Fassung

95



Die Ganglia im Rückenmark sind aus mehreren Ganglionzellen bestehend, welche die Verteilung der Nervenfasern auf die peripherischen Nerven verzögern.

Die Ganglia im Rückenmark
Die Ganglia im Rückenmark sind aus mehreren Ganglionzellen bestehend, welche die Verteilung der Nervenfasern auf die peripherischen Nerven verzögern.



Die Ganglia im Rückenmark sind aus mehreren Ganglionzellen bestehend, welche die Verteilung der Nervenfasern auf die peripherischen Nerven verzögern.

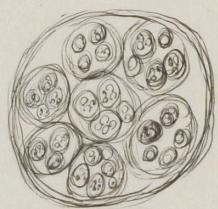


Spinal ganglion

Die Ganglia im Rückenmark sind aus mehreren Ganglionzellen bestehend, welche die Verteilung der Nervenfasern auf die peripherischen Nerven verzögern.

Spinal pia mater

Die Ganglia im Rückenmark sind aus mehreren Ganglionzellen bestehend, welche die Verteilung der Nervenfasern auf die peripherischen Nerven verzögern.



Spinal pia mater

Die Ganglia im Rückenmark sind aus mehreren Ganglionzellen bestehend, welche die Verteilung der Nervenfasern auf die peripherischen Nerven verzögern.

Spinal pia mater

Die Ganglia im Rückenmark sind aus mehreren Ganglionzellen bestehend, welche die Verteilung der Nervenfasern auf die peripherischen Nerven verzögern.

Wasserzelle mit Zellkern
und Karyosomen
mit Vakuole

Wasserzelle mit Zellkern
und Karyosomen

Wasserzelle mit Zellkern
und Karyosomen

Wasserzelle mit Zellkern



Wasserzelle mit Zellkern

Wasserzelle mit Zellkern

Wasserzelle mit Zellkern



Sauerkalben
Innenkalben

II. Wasserzelle mit Zellkern, viele Karyosomen

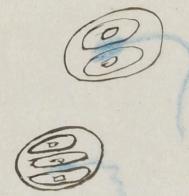
III. Die Nerven der Tiere sind aus den Nerven des Menschen und der Tiere bestehend, welche die Nerven des Menschen und der Tiere sind.

Körperliche und geistige Nerven des Menschen und der Tiere



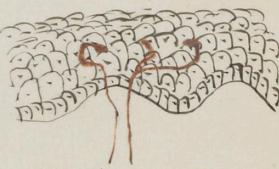
Wurzelkern

Die Nerven des Menschen und der Tiere sind aus den Nerven des Menschen und der Tiere bestehend, welche die Nerven des Menschen und der Tiere sind.



IV. Die peripherischen Endigungen der Nerven

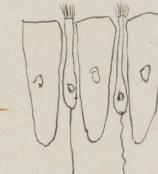
Die peripherischen Endigungen der Nerven sind aus den Nerven des Menschen und der Tiere bestehend, welche die Nerven des Menschen und der Tiere sind.



B. Die peripherischen motorischen Nerven

Die peripherischen motorischen Nerven sind aus den Nerven des Menschen und der Tiere bestehend, welche die Nerven des Menschen und der Tiere sind.

Die peripherischen motorischen Nerven sind aus den Nerven des Menschen und der Tiere bestehend, welche die Nerven des Menschen und der Tiere sind.

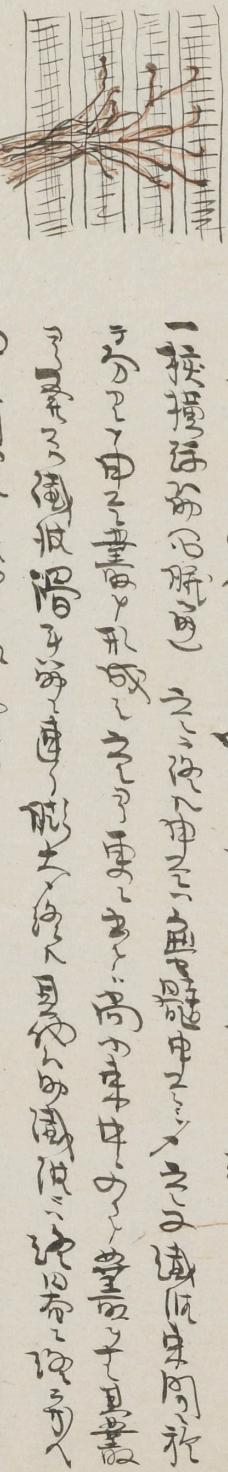


22

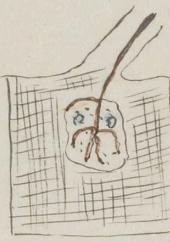
Die peripherischen motorischen Nerven sind aus den Nerven des Menschen und der Tiere bestehend, welche die Nerven des Menschen und der Tiere sind.

Die peripherischen motorischen Nerven sind aus den Nerven des Menschen und der Tiere bestehend, welche die Nerven des Menschen und der Tiere sind.

Die Nervenzellen sind aus dem Zellkörper, der Soma, und den Fortsätzen, den Dendriten und dem Axon bestehend.



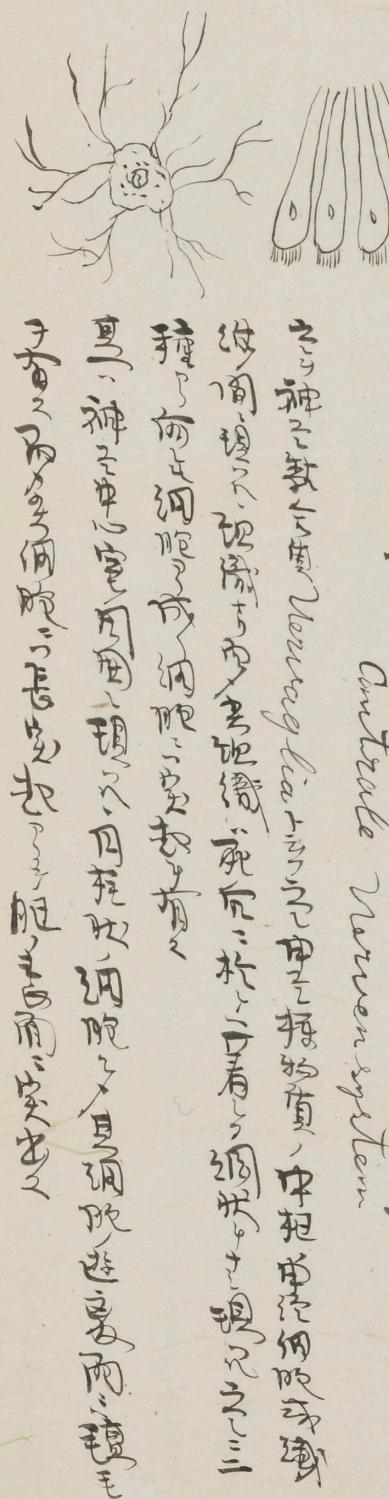
Die Nervenzellen sind aus dem Zellkörper, der Soma, und den Fortsätzen, den Dendriten und dem Axon bestehend.



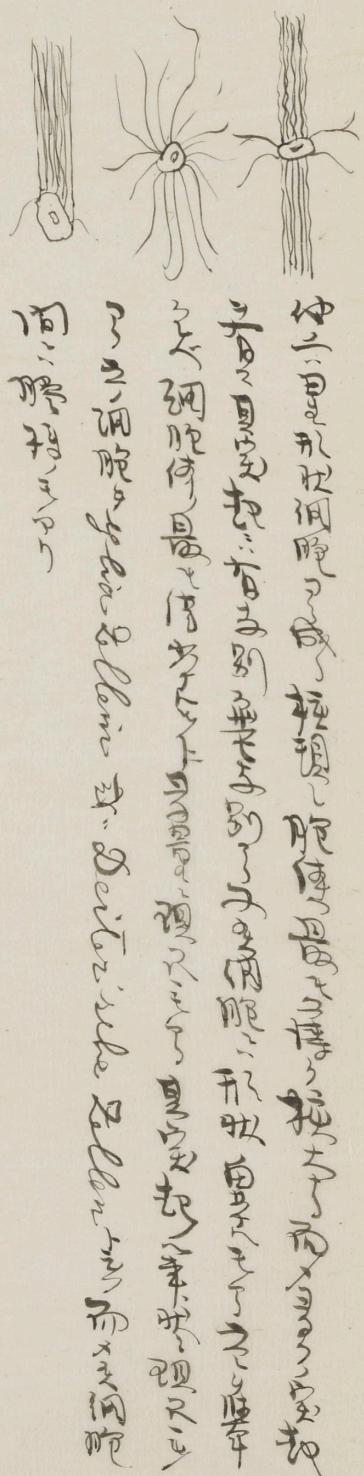
Die Nervenzellen sind aus dem Zellkörper, der Soma, und den Fortsätzen, den Dendriten und dem Axon bestehend.

Nervenzellen im Vertebratenhirn unterscheiden sich in Form und Größe.

Centrale Nervensystem



Das zentrale Nervensystem besteht aus dem Hirn und dem Rückenmark.



Peripheriales Nervensystem



